

【理念・目標】

建学の理念

知育・徳育・体育 三位一体による医療人としての全人格の完成

本学の教育理念

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を養成することによって、地域社会ならびに国際社会に貢献することを北海道医療大学の教育理念とする。

本学の教育目標

1. 幅広く深い教養と豊かな人間性の涵養
2. 確かな専門の知識および技術の修得
3. 自主性・創造性および協調性の確立
4. 地域社会ならびに国際社会への貢献

リハビリテーション科学部理学療法学科教育理念

本学の教育理念を基本として、最先端の科学的知識を有するリハビリテーション専門職の養成を図る教育を推進する。科学的専門知識の開発および教授に留まらず、保健・医療・福祉の連携と統合を意識した、包括的な視点を有する専門職業人としての理学療法士を養成することにより、人々の健康、地域社会ならびに人類の幸福に貢献することをリハビリテーション科学部理学療法学科の教育理念とする。

リハビリテーション科学部理学療法学科教育目的

リハビリテーション科学部理学療法学科の教育理念に沿って、豊かな人間性と確固たる職業倫理観を身につけ、人々の健康と保健・福祉の向上に寄与するとともに、人々が暮らす生活に根差した地域的および国際的視野から医療の向上に貢献できるリハビリテーションのコアスタッフとしての理学療法士の養成を本学科の教育目的とする。

リハビリテーション科学部理学療法学科教育目標

1. 理学療法士に求められる幅広い教養、豊かな感性、高い倫理観とコミュニケーション能力の養成
2. 科学的根拠に基づく理学療法科学の専門知識と技術の修得
3. 保健・医療・福祉分野における多職種連携の理解と、理学療法士として主体的に専門技術を提供できる能力の涵養
4. 社会の変化や科学技術の進展に合わせた持続する自己研鑽力の確立
5. 地域社会ならびに国際社会で活躍できる能力の涵養

リハビリテーション科学部作業療法学科教育理念

本学の教育理念を基本として、最先端の科学的知識を有するリハビリテーション専門職の養成を図る教育を推進する。科学的専門知識の開発および教授に留まらず、保健・医療・福祉の連携と統合を意識した、包括的な視点を有する専門職業人としての作業療法士を養成することにより、人々の健康、地域社会ならびに人類の幸福に貢献することをリハビリテーション科学部作業療法学科の教育理念とする。

リハビリテーション科学部作業療法学科教育目的

リハビリテーション科学部作業療法学科の教育理念に沿って、豊かな人間性と確固たる職業倫理観を身につけ、人々の健康と保健・福祉の向上に寄与するとともに、人々が暮らす生活に根差した地域的および国際的視野から医療の向上に貢献できるリハビリテーションのコアスタッフとしての作業療法士の養成を本学科の教育目的とする。

リハビリテーション科学部作業療法学科教育目標

1. 作業療法士に求められる幅広い教養、豊かな感性、高い倫理観とコミュニケーション能力の養成
2. 科学的根拠に基づく作業療法科学の専門知識と技術の修得
3. 保健・医療・福祉分野における多職種連携の理解と、作業療法士として主体的に専門技術を提供できる能力の涵養
4. 社会の変化や科学技術の進展に合わせた持続する自己研鑽力の確立
5. 地域社会ならびに国際社会で活躍できる能力の涵養

リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科教育理念

本学の教育理念を基本として、最先端の科学的知識を有するリハビリテーション専門職の育成を図る教育を推進する。科学的専門知識の開発および教授に留まらず、保健・医療・福祉の連携と統合を意識した、包括的な視点を有する専門職業人としての言語聴覚士を養成することにより、人々の健康、地域社会ならびに人類の幸福に貢献することをリハビリテーション科学部言語聴覚療法学科の教育理念とする。

リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科教育目的

リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科の教育理念に沿って、豊かな人間性と確固たる職業倫理観を身につけ、人々の健康と保健・福祉に寄与するとともに、人々が暮らす生活に根差した地域的および国際的視野から医療の向上に貢献できるリハビリテーションのコアスタッフとしての言語聴覚士の養成を本学科の教育目的とする。

リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科教育目標

1. 言語聴覚士に求められる幅広い教養、豊かな感性、高い倫理観とコミュニケーション能力の養成
2. 科学的根拠に基づく言語聴覚療法科学の専門知識と技術の修得
3. 保健・医療・福祉分野における多職種連携の理解と、言語聴覚士として主体的に専門技術を提供できる能力の涵養
4. 社会の変化や科学技術の進展に合わせた持続する自己研鑽力の確立
5. 地域社会ならびに国際社会で活躍できる能力の涵養

【大学の三方針】

北海道医療大学三方針

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

北海道医療大学は、大学および各学部学科の教育理念・教育目的に基づいた教育目標の達成に向けて、全学教育および専門教育科目を履修し、保健・医療・福祉の高度化・専門化に対応しうる高い技術と知識、優れた判断力と教養を身につけ、各学部学科が定める履修上の要件を満たした学生に対して「学士」の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

北海道医療大学は、教育理念にある「保健と医療と福祉の連携・統合」を基本として、確かな知識と技術、深い教養と豊かな人間性を持ち、広く社会に貢献できる専門職業人の養成に向けた教育課程を編成します。すなわち、幅広く深い教養と豊かな人間性・自立性・創造性・協調性の修得をめざす「全学教育科目」、および確かな専門知識と技術の修得をめざす各学部・学科の「専門教育科目」を適切に組合せた学士課程教育を提供します。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

北海道医療大学は、「21世紀の新しい健康科学の構築」を追究し、社会の要請と期待に応えるため、豊かな人間性や協調性・創造性等に加えて、保健と医療と福祉に関して各学部学科の高度な研究に裏打ちされた専門性の高い教育を行います。本学卒業には各学部学科の「学位授与の方針」の要件を満たすこと、すなわち、全学共通基盤の知識・技術・態度が必要となるばかりではなく高度な専門性の修得が要求されます。そのため、各学部学科では学位授与の方針の要件をより効果的に達成しうる資質を持った人材を「入学者受入れの方針」として定めています。

なお、上記の北海道医療大学の三方針（学位授与、教育課程編成・実施、入学者受入れの方針）に基づいて各学部学科の三方針の詳細が定められています。

学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）

北海道医療大学は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、学生の学修成果を評価し、さらに恒常的な教育改善に資するために学修成果に関する「アセスメント・ポリシー」を定めます。入学時、在学時、卒業時の各段階で機関レベル（大学全体）、教育課程レベル（学部・学科）、および授業科目レベルの三つのレベルにおいて以下の各種指標の組合せで学修成果を検証します。ただし、授業科目レベルについては各種指標の中からシラバスに示す指標を用いて学修成果を評価します。

【リハビリテーション科学部理学療法学科三方針】

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

リハビリテーション科学部理学療法学科の教育目標に基づき、卒業のために、以下の要件を満たすことが求められる。

1. 生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。
2. 最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力を身につけている。
3. 理学療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。
4. 関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力を身につけている。
5. 国際的および地域的視野を有するリハビリテーションの専門家として活躍できる能力を身につけている。
6. 社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および理学療法科学の開発を実践できる能力を身につけている。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

リハビリテーション科学部理学療法学科の学位授与の方針に基づき、以下の方針のもとで教育課程を編成・実施する。

1. リハビリテーション専門職としてふさわしい豊かな人間性の形成、コミュニケーション力の向上を目的に、全学教育科目を1年次から3年次にわたって配当する。
2. 1年次から2年次にかけては、科学的根拠に基づいた理学療法技術を実践するうえで理論的基盤となる専門基礎科目を中心に配当する。
3. 3年次以降は、多様な障害に対して適切な理学療法を実践するために必要な治療ならびに支援技術を学ぶ科目を配当する。また、健康維持・増進の見地から、生活習慣病予防や介護予防、スポーツ障害予防等に対応できる科目も配当する。
4. 3年次から4年次にかけては、研究法や研究セミナーの科目を配当し、社会の変化や科学技術の進展に合わせて、生涯にわたり自己研鑽していく態度を修得させる。
5. 保健・医療・福祉の分野において、関係職種と連携するための協調的実践能力を養うために、多職種連携、地域連携に関する実践的な科目を配当する。
6. リハビリテーション専門職である理学療法士としての態度、資質、行動を育成するとともに、学内教育で修得した知識と技術を統合させ、臨床実践能力を涵養するために、学外での臨床実習を各学年で段階的に展開する。
7. 各授業科目の学修成果は、シラバスに明示された学修目標に対する教員よりの評価および学生アンケートなどの結果から達成状況を評価する。また、1年次における教養や基礎、2年次における臨床への指向、3年次における各専門領域の学修、4年次での総合的実践的能力の獲得といった各段階に応じた学修成果に加え、リハビリテーション科学部理学療法学科所定の教育課程における卒業要件への達成状況を単位取得状況やGPAにより評価する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

リハビリテーション科学部理学療法学科では、「学位授与の方針」の要件を修得し、社会の要請と期待に応じて地域や人々の健康の向上に貢献できる理学療法専門職の養成を目標としています。そのため、以下のような資質を持った人材を広く求めます。

1. 入学後の修学に必要な基礎学力*を有している人
2. 協調性や基礎的な思考力と表現力を有している人
3. 生命を尊重し、他者を大切に思う心がある人
4. 保健・医療・福祉に関心があり、理学療法士として地域社会ならびに人類の幸福に貢献するという強い目的意識を持っている人
5. 生涯にわたって学習を継続し、探求心を持ち、自己を磨く意欲を持っている人

*基礎学力とは

高等学校等で修得する英語、数学、国語を基盤とし、生体の構造や機能を理解するための生物、化学、物理、および大学におけるリベラルアーツ教育の基盤となる社会系科目について1科目以上修得し身につけている学力をさします。

【リハビリテーション科学部作業療法学科三方針】

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

リハビリテーション科学部作業療法学科の教育目標に基づき、卒業のために、以下の要件を満たすことが求められる。

1. 生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。
2. 最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力を身につけている。
3. 作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。
4. 関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力を身につけている。
5. 国際的および地域的視野を有するリハビリテーションの専門家として活躍できる能力を身につけている。
6. 社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および作業療法科学の開発を実践できる能力を身につけている。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

リハビリテーション科学部作業療法学科の学位授与の方針に基づき、以下の方針のもとで教育課程を編成・実施する。

1. リハビリテーション専門職としてふさわしい豊かな人間性の形成、コミュニケーション力の向上を目的に、全学教育科目を1年次から3年次にわたって配当する。
2. 1年次から2年次にかけては、科学的根拠に基づいた作業療法技術を実践するうえで理論的基盤となる専門基礎科目を中心に配当する。
3. 3年次以降は、多様な障害に対して適切な作業療法を実践するために必要な治療ならびに支援技術を学ぶ科目を配当する。また、健康維持・増進の見地から、生活習慣病予防や介護予防、職業復帰の見地から就業支援等に対応できる科目も配当する。
4. 3年次から4年次にかけては、研究法や研究セミナーの科目を配当し、社会の変化や科学技術の進展に合わせて、生涯にわたり自己研鑽していく態度を修得させる。
5. 保健・医療・福祉の分野において、関係職種と連携するための協調的実践能力を養うために、多職種連携、地域連携に関する実践的な科目を配当する。
6. リハビリテーション専門職である作業療法士としての態度、資質、行動を育成するとともに、学内教育で修得した知識と技術を統合させ、臨床実践能力を涵養するために、学外での臨床実習を各学年で段階的に展開する。
7. 各授業科目の学修成果は、シラバスに明示された学修目標に対する教員よりの評価および学生アンケートなどの結果から達成状況を評価する。また、1年次における教養や基礎、2年次における臨床への指向、3年次における各専門領域の学修、4年次での総合的実践的能力の獲得といった各段階に応じた学修成果に加え、リハビリテーション科学部作業療法学科所定の教育課程における卒業要件への達成状況を単位取得状況やGPAにより評価する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

リハビリテーション科学部作業療法学科では、「学位授与の方針」の要件を修得し、社会の要請と期待に応えて地域や人々の健康の向上に貢献できる作業療法専門職の養成を目標としています。そのため、以下のような資質を持った人材を広く求めます。

1. 入学後の修学に必要な基礎学力*を有している人
2. 協調性や基礎的な思考力と表現力を有している人
3. 生命を尊重し、他者を大切に思う心がある人
4. 保健・医療・福祉に関心があり、作業療法士として地域社会ならびに人類の幸福に貢献するという強い目的意識を持っている人
5. 生涯にわたって学習を継続し、探求心を持ち、自己を磨く意欲を持っている人

*基礎学力とは

高等学校等で修得する英語、数学、国語を基盤とし、生体の構造や機能を理解するための生物、化学、物理、および大学におけるリベラルアーツ教育の基盤となる社会系科目について1科目以上修得し身につけている学力をさします。

【リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科三方針】

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科教育目標に基づき、卒業のために、以下の要件を満たすことが求められる。

1. 生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。
2. 最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力を身につけている。
3. 言語聴覚士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。
4. 関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力を身につけている。
5. 国際的および地域的視野を有するリハビリテーションの専門家として活躍できる能力を身につけている。
6. 社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および言語聴覚療法学科の開発を実践できる能力を身につけている。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科の学位授与の方針に基づき、以下の方針のもとで教育課程を編成・実施する。

1. リハビリテーション専門職としてふさわしい豊かな人間性の形成、コミュニケーション力の向上を目的に、全学教育科目を1年次から3年次にわたって担当する。
2. 1年次から2年次にかけては、科学的根拠に基づいた言語聴覚療法技術を実践するうえで理論的基盤となる専門基礎科目を中心に担当する。
3. 3年次以降は、多様な障害に対して適切な言語聴覚療法を実践するために必要な治療ならびに支援技術を学ぶ科目を担当する。また、健康維持・増進の見地から、生活習慣病予防や介護予防、職業復帰の見地から就業支援等に対応できる科目も担当する。
4. 3年次から4年次にかけては、研究法や研究セミナーの科目を担当し、社会の変化や科学技術の進展に合わせて、生涯にわたり自己研鑽していく態度を修得させる。
5. 保健・医療・福祉の分野において、関係職種と連携するための協調的実践能力を養うために、多職種連携、地域連携に関する実践的な科目を担当する。
6. リハビリテーション専門職である言語聴覚士としての態度、資質、行動を育成するとともに、学内教育で修得した知識と技術を統合させ、臨床実践能力を涵養するために、学外での臨床実習を各学年で段階的に展開する。
7. 各授業科目の学修成果は、シラバスに明示された学修目標に対する教員よりの評価および学生アンケートなどの結果から達成状況を評価する。また、1年次における教養や基礎、2年次における臨床への指向、3年次における各専門領域の学修、4年次での総合的実践的能力の獲得といった各段階に応じた学修成果に加え、リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科所定の教育課程における卒業要件への達成状況を単位取得状況やGPAにより評価する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科では、「学位授与の方針」の要件を修得し、社会の要請と期待に応じて地域や人々の健康の向上に貢献できる言語聴覚療法専門職の養成を目標としています。そのため、以下のような資質を持った人材を広く求めます。

1. 入学後の修学に必要な基礎学力*を有している人
2. 協調性や基礎的な思考力と表現力を有している人
3. 生命を尊重し、他者を大切に思う心がある人
4. 保健・医療・福祉に関心があり、言語聴覚士として地域社会ならびに人類の幸福に貢献するという強い目的意識を持っている人
5. 生涯にわたって学習を継続し、探求心を持ち、自己を磨く意欲を持っている人

*基礎学力とは

高等学校等で修得する英語、数学、国語を基盤とし、生体の構造や機能を理解するための生物、化学、物理、および大学におけるリベラルアーツ教育の基盤となる社会系科目について1科目以上修得し身につけている学力をさします。

2021年度リハビリテーション科学部 授業時間割

<前期>

曜日	学年	学科	I		II		III		IV		V		VI	
			9:00~10:20	講義室	10:30~11:50	講義室	12:40~14:00	講義室	14:10~15:30	講義室	15:40~17:00	講義室	17:10~18:30	講義室
月	1	理学	オンデマンド14回、対面1回		*	解剖学 I [高橋]	C52	運動学 I [小島]	C52	○医学概論 (1/2) [小林正 齋藤]	C52			
		作業	多職種連携 (多職種連携入門)					オンデマンド2回		開講日別途指示				
		言語	開講予定・担当者等詳細別途配布						音声言語聴覚医学 (1/2) [榑原 才川] ◆23コマ	C54	小林先生：オンデマンド			
		理学	統計学 (基礎統計学) [二瓶]	C31		統計学 (基礎統計学) [二瓶]	C31		病理学 [安彦 佐藤]	C51	伴奏法 [近藤] ◆30コマ		音楽療法室	
2新	2	作業				○評価学概論 [本家]	C51							
		言語			小児科学 [太田] ◆12コマ	C81 演習室	内科学 (1/2) [太田]	C91	○病理学 [太田]	C81 演習室				
		理学						地域理学療法学 [鈴木英 長谷川]	P1	理学療法研究セミナー I [学科全教員]	*			
3新	3	作業							精神障害作業療法学 [浅野雅 児玉] ◆30コマ	C53				
		言語	発声発語障害学演習 II ◆30コマ [柳田] / 発声発語障害学演習 I ◆15コマ [飯泉]				一部オンライン、一部対面	C82 C83	摂食嚥下障害学演習 [飯泉 飯田]	C82 C83				
		理学	統計学 (基礎統計学) [二瓶]	C31	統計学 (基礎統計学) [二瓶]	C31	○保健医療福祉論 [鈴木英 他]	C53						
3旧	3	作業												
		言語	成人発声発語障害学演習 (前期開講後期配当) ◆30コマ [飯泉、柳田] / 小児発声発語障害学演習 (前期開講後期配当) ◆15コマ [柳田]				一部オンライン、一部対面	C82 C83	摂食嚥下障害学演習 [飯泉 飯田]	C82 C83				
		理学	臨床実習 IV / 5月10日~7月2日、臨床実習 V / 8月23日~9月10日、理学療法研究セミナー II (通年30コマ)											
4	4	作業	総合臨床実習 II / 5月10日~7月9日											
		言語	総合実習 / 【I期】5月10日~7月16日、【II期】6月24日~9月3日、言語聴覚ゼミナール II (通年15コマ)、卒業研究 (通年15コマ)											
		編4	言語	成人発声発語障害学演習 (前期開講後期配当) ◆30コマ [飯泉、柳田] / 小児発声発語障害学演習 (前期開講後期配当) ◆15コマ [柳田]				一部オンライン、一部対面	C82 C83	摂食嚥下障害学演習 [飯泉 飯田]	C82 C83			

曜日	学年	学科	I		II		III		IV		V		VI	
			9:00~10:20	講義室	10:30~11:50	講義室	12:40~14:00	講義室	14:10~15:30	講義室	15:40~17:00	講義室	17:10~18:30	講義室
火	1	理学			英語 I (英語A) [松本]	C53	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) [木村 他] / <選>文章指導 (日本語の表現) [山田 他]		<選> ○医療数学入門 [長谷川 敦 中野諭]	C53				
		作業	音楽理論 [近藤 浅野雅]	音楽療法室	生理学 I [西出]	C54								
		言語	認知心理学 [橋本] ◆12コマ	C81	音声学 [榑原 柳田]	*		解剖生理学 I [下村 前田]		一部対面別途指示	C82			
		理学			運動療法学 I [吉田 他]	C51		理学療法基礎評価学 I [長谷川 他] / 理学療法基礎評価学 II [吉田 他]		C62/63				
2新	2	作業					解剖学実習 [高橋 他] ◆45コマ			C51 / 実習室				
		言語			言語発達学 [福田 他]	*	臨床心理学 [橋本 百々] ◆12コマ	C81 演習室	<選> 日本語学 [福田]	*	○関係法規 [柳田 近藤尚]	C81 演習室		
		理学			○老年学 [浅野葉 他]	C55				オンライン5回				
3新	3	理学	内部障害理学療法学 I [澤田 泉]	P1	○内部障害理学療法学 II [澤田 泉]	P1	神経障害理学療法学 [吉田] ◆23コマ	P1						
		作業	身体障害作業療法学 [本家 他] ◆30コマ		C52	身体障害作業療法学実習 I [坂上 他] ◆23コマ	C73/74/75	合唱 [近藤 榑原] ◆30コマ	音楽療法室					
		言語	高次脳機能障害学 [田村] ◆12コマ	C82	聴覚障害学 II [前田 他]	C82	高次脳機能障害学演習 [黒崎 田村]	C82	言語発達障害学 II [橋本 小林]	C82 演習室				
3旧	3	理学	内部障害理学療法学 [澤田 泉]		新カリ「内部障害理学療法学 I II」両方履修	P1								
		作業							身体機能評価学 II [本家]	別途開講 (新カリ2年後期配当)	C55			
		言語			小児聴覚障害学 [前田 他]	C82			言語発達障害学特論 [橋本 小林]	C82 演習室				
4	4	理学	臨床実習 IV / 5月10日~7月2日、臨床実習 V / 8月23日~9月10日、理学療法研究セミナー II (通年30コマ)											
		作業	総合臨床実習 II / 5月10日~7月9日											
		言語	総合実習 / 【I期】5月10日~7月16日、【II期】6月24日~9月3日、言語聴覚ゼミナール II (通年15コマ)、卒業研究 (通年15コマ)											
編4	言語	高次脳機能障害学 [田村] ◆12コマ	C82	小児聴覚障害学 [前田 他]	C82	高次脳機能障害学演習 [黒崎 田村]	C82	言語発達障害学特論 [橋本 小林]	C82 演習室					

曜日	学年	学科	I		II		III		IV		V		VI		
			9:00~10:20	講義室	10:30~11:50	講義室	12:40~14:00	講義室	14:10~15:30	講義室	15:40~17:00	講義室	17:10~18:30	講義室	
水	1	理学			<理言・選>										
		作業	作業療法概論 [鎌田]	C52	自然科学入門 (生物学) [西出]	C52	<選> 人間と文化 (文化人類学) [花浜]	C52	〇医学概論(2/2) [浅香 河野] 開講日別途指示	C52					
		言語	英語Ⅰ (英語A) [松本]	C55											
		言語	英語Ⅰ (英語A) [中島]	C54											
	理学	精神医学Ⅰ [中川]		小児科学 [太田]	C51	障がい者当事者論 [鈴木英 他]									C52
	2新	作業		C51	<選>						器楽(弦) [近藤]◆30コマ		音楽療法室		
		言語	精神医学 [中川]		公衆衛生学 [志渡 米田]	C54 演習室	〇失語症学Ⅰ [田村]	C81 演習室	〇形成外科学(Ⅳ・Ⅴ) [大澤 他]	C81 演習室	〇医学総論 [中川 他] 心 内科学(2/2) [森谷] 開講日別途指示		C91 演習室		
	3新	理学	理学療法研究法 [大須田 中村]	C53	発達障害理学療法学 [大須田]	C53	物理療法学 [佐々木 他]◆30コマ				C51/62 /63/72 /76				
		作業	〇高次脳機能障害作業 療法学 [桜庭 坂上]	P1	地域作業療法学 [浅野葉 他]	P1	〇呼吸リハビリテー ション学 [高橋]	P1/ C63	老年期障害作業療法学 Ⅰ [鎌田]	P1	〇ハンドセラピー [越後]	P1			
		言語	言語発達障害学演習 [小林 橋本]◆30コマ			C81 C82	聴覚障害学演習Ⅱ [前田 葛西]◆23コマ		オンデマンド5回		C82 C83 演習室				
	3旧	作業	高次脳機能障害作業療 法学 [桜庭 坂上]	P1					老年期障害作業療法学 [鎌田]	P1					
		言語	不足別途開講指示						聴覚障害学演習 [前田 葛西]◆45コマ	オンデマンド5回 不足別途開講指示	C82 C83 演習室				
4	理学	臨床実習Ⅳ/5月10日~7月2日、臨床実習Ⅴ/8月23日~9月10日、理学療法研究セミナーⅡ(通年30コマ)													
	作業	総合臨床実習Ⅱ/5月10日~7月9日													
編4	言語	総合実習/【Ⅰ期】5月10日~7月16日、【Ⅱ期】6月24日~9月3日、言語聴覚ゼミナールⅡ(通年15コマ)、卒業研究(通年15コマ)													
	言語	言語発達障害学演習 [小林 橋本]◆30コマ			C82	聴覚障害学演習 [前田 葛西]◆45コマ		オンデマンド5回 不足別途開講指示		C82 C83 演習室					演習室

曜日	学年	学科	I		II		III		IV		V		VI		
			9:00~10:20	講義室	10:30~11:50	講義室	12:40~14:00	講義室	14:10~15:30	講義室	15:40~17:00	講義室	17:10~18:30	講義室	
木	1	理学	情報処理演習 (情報処理演習) [二瓶 西牧]	C51	健康・運動科学演習 (運動科学演習Ⅰ) [山口 他]	C52/ 体育館	生理学Ⅰ [宮崎]	C52	人間と思想 (科学技術社会と倫理) [磯部]	C52	<選>	〇医療物理入門 [吉田 中村]	C52		
		作業	健康・運動科学演習 (運動科学演習Ⅰ) [山口 他]	C52/ 体育館	情報処理演習 (情報処理演習) [二瓶 西牧]	C51									
		言語					音声言語聴覚医学(2/2) [榊原 才川]◆23コマ	C81 演習室							
	2新	理学					整形外科学 [青木]◆23コマ				C51	<選> 初修外国語 (ドイツ語) [阿部]	C51		
		作業										<選> 初修外国語 (フランス語) [染木]	C54		
	3新	理学	<選> 〇生活環境論 [鈴木英 長谷川]	C53	<選> 積雪寒冷地の 生活と諸問題 [鈴木英 他]	P1	義肢装具学Ⅱ [武田 他]◆23コマ				C53/73	<選>	地域連携 (地域包括ケア論) [鈴木英 他]	C53	
		作業	〇音楽療法[近藤 他] / 〇音楽療法各論[近藤 他]	C74	開講日指定：学外演習あり		作業療法研究セミナー Ⅰ [学科全教員]	P1	日常生活援助学Ⅱ [朝日 浅野葉]	P1		開講日指定：学外演習あり 理学のみハイブリッド講義			
		言語	失語症学演習Ⅰ[黒崎] / 失語症学演習Ⅱ[田村]						C82	〇社会保障制度論 [志水幸]	C82				
	3旧	理学										<選>	地域連携 (地域包括ケア演習) [鈴木英 他]	C53	
		作業								〇日常生活援助学演習 [朝日 浅野葉]	P1	開講日指定：学外演習あり 理学のみハイブリッド講義			
	4	理学	臨床実習Ⅳ/5月10日~7月2日、臨床実習Ⅴ/8月23日~9月10日、理学療法研究セミナーⅡ(通年30コマ)												
		作業	総合臨床実習Ⅱ/5月10日~7月9日												
編4	言語	総合実習/【Ⅰ期】5月10日~7月16日、【Ⅱ期】6月24日~9月3日、言語聴覚ゼミナールⅡ(通年15コマ)、卒業研究(通年15コマ)													
	言語	失語症学演習Ⅰ[黒崎] / 失語症学演習Ⅱ[田村]				演習Ⅱ)前期開講後期配当		C82							

曜日	学年	学科	I		II		III		IV		V		VI	
			9:00~10:20	講義室	10:30~11:50	講義室	12:40~14:00	講義室	14:10~15:30	講義室	15:40~17:00	講義室	17:10~18:30	講義室
金	1	理学	<選>			<選>		<選>						
		作業	人間と文化 (日本の文学) [山田桃]	C52	リハビリテーション概論 [泉 他]	C52	人間と社会 (医療の法学) [姫嶋]	C52	理学療法概論 [泉 鈴木英]	C52	臨床実習 I [学科全教員]		C52	
		言語	オンデマンド11回				人間と社会 (社会学入門) [薄井]	C53						
	2新	理学			日常生活動作学 I [鈴木英 長谷川]	C51/64 /72/73				解剖学実習 [高橋 他]◆45コマ	土曜日開講予定あり 開講日別途指示		C51/ 実習室	
		作業	身体機能評価学 I [坂上 他]◆30コマ			C74								
	3新	言語	耳鼻咽喉科学 [才川]	C81 演習室	<選> 解剖生理学Ⅲ [下村 他]	C81 演習室	〇言語聴覚診断学総論 [田村 他]	C81 演習室	〇関係法規 [柳田 近藤尚]	C81 演習室	対面3回			
		理学	骨関節障害理学療法学 [武田 佐々木]◆23コマ			P1								
		作業	発達障害作業療法学演習 [木村]		隔週開講	C53/ 74/75					N 多職種連携 (多職種連携論) [吉田 他]	*		
	3旧	作業	発達障害作業療法学[木村] / 発達障害作業療法学演習[木村]		各科目隔週開講 演習) 前期開講後配当	C53/ 74/75	〇リハビリテーション 工学 [本家 他]	C55						
		言語												
4	理学	臨床実習Ⅳ / 5月10日~7月2日、臨床実習Ⅴ / 8月23日~9月10日、理学療法研究セミナーⅡ (通年30コマ)												
	作業	総合臨床実習Ⅱ / 5月10日~7月9日												
編4	言語	総合実習 / 【Ⅰ期】5月10日~7月16日、【Ⅱ期】6月24日~9月3日、言語聴覚ゼミナールⅡ (通年15コマ)、卒業研究 (通年15コマ)											演習室	
	言語									N 多職種連携 (多職種連携論) [吉田 他]	*			

開講日別途指示
オンライン10回、オンデマンド5回

オンデマンド	1	【選択】 理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚療法学科 人間と思想 (哲学入門) [森元]
		理学療法学科・作業療法学科・【選択】言語聴覚療法学科 自然科学入門 (基礎数理) [中野]
		言語聴覚療法学科【選択】〇医療生物入門 [下村]
		言語聴覚療法学科【選択】文章指導 (日本語の表現) [榊原]
集中等	2	言語聴覚療法学科【選択】生理心理学◆12コマ [百々]
	2旧	理学療法学科 (変則講義/開講日程指定) 理学療法英文原著読解 [小島 他]
	3旧	作業療法学科 〇園芸療法 [浅野雅、杉原] 7月22日(木)、23日(金) (Ⅰ-Ⅳ講時) 実習室
	3旧	言語聴覚療法学科 (変則講義/開講日程指定) 成人発声発語障害学◆30コマ [飯泉 柳田]
	3旧	言語聴覚療法学科 (変則講義/開講日程指定) 小児発声発語障害学◆19コマ [柳田]
	4	言語聴覚療法学科 (変則講義/開講日程指定) 摂食嚥下障害学 [飯田 飯泉]
臨床実習	4	【自由選択】 理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚療法学科 多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習) / 8月4日~8月6日 [澤田 他]
	4	言語聴覚療法学科 (変則講義/開講日程指定) 言語聴覚学総論Ⅲ◆9コマ [下村 他]
	編4	言語聴覚療法学科 (変則講義/開講日程指定) 言語聴覚ゼミナールⅠ [学科全教員]
	1	理学療法学科 臨床実習Ⅰ / 8月2日~6日 [学科全教員]
4	理学療法学科 臨床実習Ⅳ / 5月10日~7月2日 [学科全教員] 臨床実習Ⅴ / 8月23日~9月10日 [学科全教員]	
	作業療法学科 総合臨床実習Ⅱ / 5月10日~7月9日 [学科全教員]	
	言語聴覚療法学科 総合実習 / 【Ⅰ期】5月10日~7月16日 【Ⅱ期】6月24日~9月3日 [学科全教員]	
編4	言語聴覚療法学科 基礎実習 / 8月30日~9月10日 [学科全教員]	

※英語Ⅰ(英語A) / 情報処理演習 / 健康・運動科学演習 ⇒ グループ別開講授業科目

- ・〇1単位科目：原則、定期試験を全講義終了後の翌々週に実施
- 〇印：講義回数8回
- <選>印：選択科目
- <理・選>印：理学療法学科選択科目
- <言・選>印：言語聴覚療法学科選択科目
- <自選>印：自由選択科目
- NE印：看護福祉学部合同開講科目
- 心印：心理科学部合同開講科目
- 同印：同時開講科目

時間割には空き時間がありますが、補充講義や講義変更により授業が行われることがあります。その場合にはmanabaまたはi-Portalにより周知されるので留意してください。各自が必ず確認するよう心がけてください。

曜日	学年	学科	I		II		III		IV		V		VI	
			9:00~10:20	講義室	10:30~11:50	講義室	12:40~14:00	講義室	14:10~15:30	講義室	15:40~17:00	講義室	17:10~18:30	講義室
金	1	理学	<理・選> 自然科学入門 (生命科学) [西出]	C52	生理学Ⅱ [宮崎]	C52	○社会保障制度論 [志水幸]	C52	<選> 人間と社会 (国際社会福祉論) [花淵 他]	C52	臨床実習Ⅰ [学科全教員]		C52	
		作業			作業療法技術学演習Ⅰ [浅野雅 他]	C53								
		言語												
	2新	理学	内科学(2/2) [高橋伸 他]◆23コマ 開講日別途指示	C51	日常生活動作Ⅱ [鈴木英 他]	C51/64 /72/74	医療コミュニケーション [長谷川 他]	C53 /10F			リハビリテーション医学 [小川 他]	C51		
		作業			精神系評価学 [児玉 他]	C54	発達障害作業療法 [木村]	C54						
		言語					○口腔外科学 [永易]	C53						
	3新	理学	内部障害理学療法学演習 [澤田 他]◆30コマ		P1/62/ 63/64									
		作業	○就業援助論 [鎌田 他]	C53			老年期障害作業療法Ⅱ [鎌田 朝日]		C74/ 75					
		言語								言語聴覚ゼミナールⅠ [学科全教員]	*			
	3旧	作業					老年期障害作業療法学演習 [鎌田 朝日]	10月まで新カリと合同 不足別途開講指示(1月~)	C74/ 75					
理学								理学療法総合講義 [学科全教員]	C51	理学療法研究セミナーⅡ [学科全教員]	*			
作業		作業療法学総合講義 [学科全教員]	C54	作業療法研究セミナーⅡ [学科全教員]		*								
4	言語					言語聴覚学総論Ⅳ◆45コマ	変則講義(開講日別途指示)				C81 演習室			
	編4	言語				言語聴覚学総論Ⅳ◆45コマ	変則講義(開講日別途指示)				C81 演習室			

オンデマンド	1	理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚療法学科 医療倫理(医療倫理) [森元]
		言語聴覚療法学科 統計学(基礎統計学) [森元]
		言語聴覚療法学科 学習心理学◆12コマ [福田実]
集中	2旧	理学療法学科(変則講義/開講日程指定) 理学療法英文原著読解 [小島 他]/理学療法評価学総合演習 [学科全教員]
	3旧	理学療法学科(変則開講/開講日程指定/OSCE別途実施) 理学療法治療学総合演習 [学科全教員]
	編4	言語聴覚療法学科(変則講義/開講日程指定) 言語聴覚学総論Ⅱ◆9コマ [中川 他]
臨床実習	1	作業療法学科 臨床見学/2月28~3月4日 [学科全教員]
	2	理学療法学科 臨床実習Ⅱ/2月28日~3月11日 [学科全教員]
	2旧	作業療法学科 評価実習/1月31日~3月1日 [学科全教員]
	3	理学療法学科 臨床実習Ⅲ/1月6日~2月28日 [学科全教員]
		作業療法学科 評価実習/1月17日~2月21日 [学科全教員]
		言語聴覚療法学科 基礎実習/【Ⅰ期】10月25日~11月22日 【Ⅱ期】11月22日~12月20日 [学科全教員]
	3旧	作業療法学科 総合臨床実習Ⅰ/10月11日~12月15日 [学科全教員]
言語聴覚療法学科 基礎実習/12月6日~12月17日 [学科全教員]		
編4	言語聴覚療法学科 総合実習/9月21日~12月3日(10週) [学科全教員]	

※英語Ⅱ(英語コミュニケーションA)/韓国語/健康・運動科学演習 ⇒ グループ別開講授業科目

- ・○1単位科目:原則、定期試験を全講義終了後の翌々週に実施
- 印:講義回数8回
- <選>印:選択科目
- <理・選>印:理学療法学科選択科目
- <作・選>印:作業療法学科選択科目
- <言・選>印:言語聴覚療法学科選択科目
- D印:歯学部合同開講科目
- 同印:同時開講科目

時間割には空き時間がありますが、補充講義や講義変更により授業が行われることがあります。その場合にはmanabaまたはi-Portalにより周知されるので留意してください。各自が必ず確認するよう心がけてください。

オフィスアワー

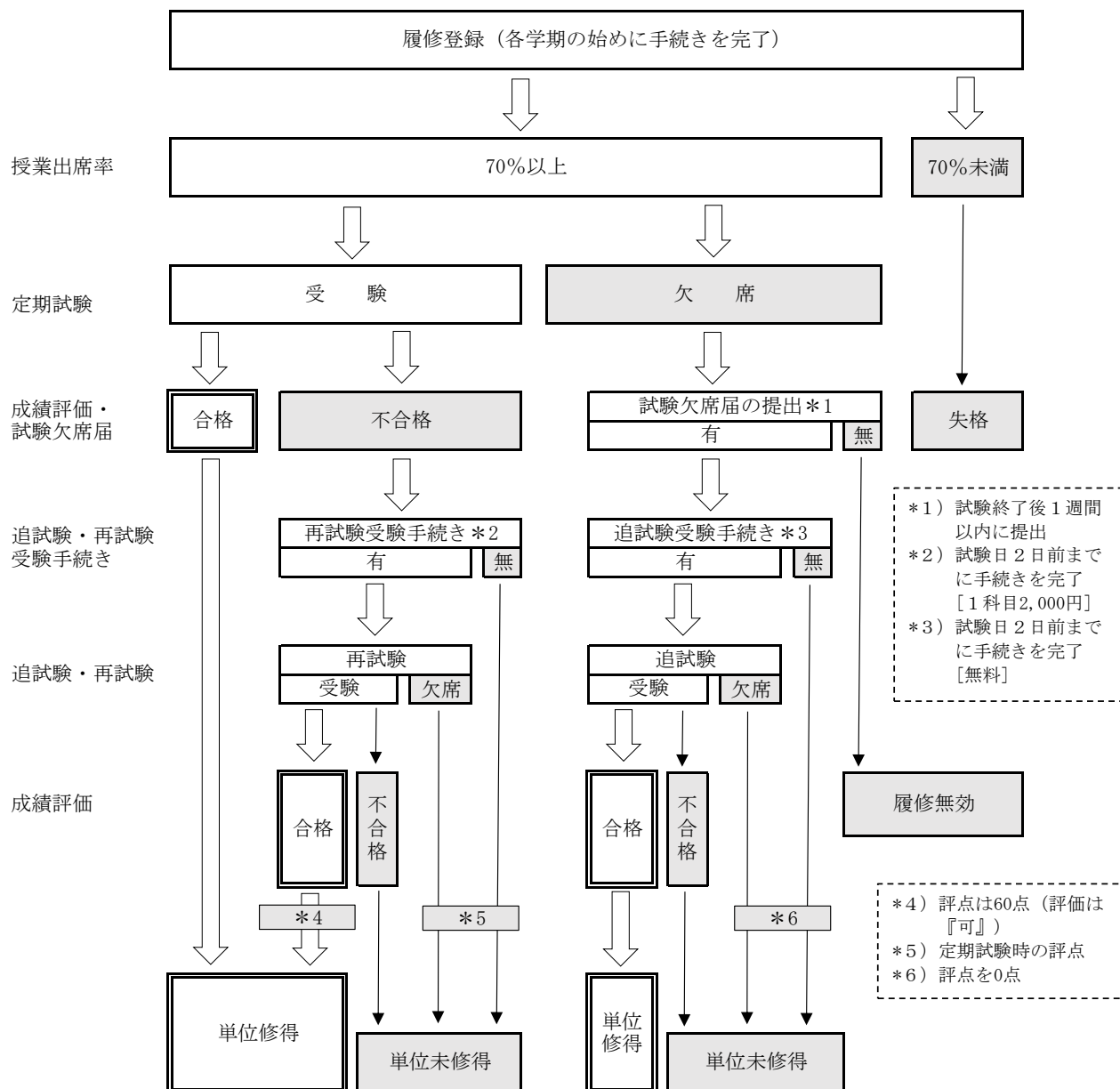
・オフィスアワーとは

教員が特定の曜日・時間をあらかじめ定め、学生からの授業に関する質問や学生生活、進路などの相談に個別に応じるため研究室等で待機している制度です。面談を希望する場合は、各教員の日時を確認の上、利用してください。

1. オフィスアワーの時間帯は、研究室を訪ねる際に事前の予約は必要ないです。
2. オフィスアワーの時間以外でも研究室への来訪を受け付けている教員もいるので、E-mailなどで問い合わせてください。
3. 複数の学生が同時に利用することもあるため、授業の前後やE-mailなどで事前予約をすると確実です。
4. オフィスアワーに設定している時間帯であっても、会議や出張などで在室できない場合があります。

※前期は4月、後期は10月にオフィスアワーを確定し、詳細を本学HPやi-Portalなどで周知します。

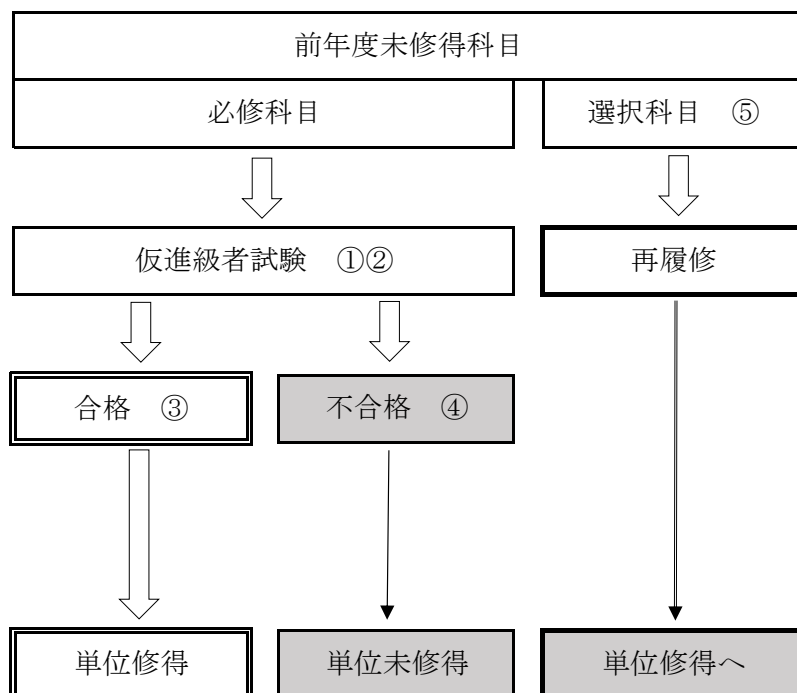
履修登録から単位修得まで〈フローチャート I〉



進級の基準 (リハビリテーション科学部履修規程)

- ◎履修した全ての必修科目が合格 (単位修得) の場合..... **進級**
- ◎必修科目 (実習科目を除く) のうち、
 不合格科目数が20%を超えない場合..... **仮進級**
 (但し、第4学年への仮進級は認めない。)
- ◎必修科目 (実習科目を除く) のうち、
 不合格科目数が20%を超える場合..... **留年**
- ◎実習科目が不合格、必修科目に失格・履修無効がある場合..... **留年**

仮進級の場合の単位修得<フローチャートⅡ>



- ①仮進級者に対して仮進級者試験を行います。
- ②受験手続きは試験日の2日前（土日祝日は除く）までに完了してください。
<1科目：2,000円>
- ③評価は「可」となります。
- ④不合格の場合は、次年度の仮進級者試験を再度受験することになります。
- ⑤選択科目の仮進級者試験は行いません。単位修得を希望する場合は再履修することになり、フローチャートⅠと同様です。

☆追試験・再試験の手続き方法等

定期試験を欠席した場合には追試験、定期試験が不合格だった場合には再試験が実施されます。

≪履修登録から単位修得まで<フローチャートⅠ>を併せて参照してください。≫

- ①試験欠席届 ————— 正当な理由によりやむを得ず定期試験を欠席した場合は、試験終了後1週間以内に必要書類（診断書、公共交通機関発行の遅延証明書など）を添付の上でリハビリテーション科学課に届け出が必要です。届け出がない場合、その科目は「履修無効」となります。
- ②追試験 ————— 定期試験を欠席し、その理由が正当と認められた場合に実施され、受験手続きが必要です。（受験料：無料）また、正当な理由と認められない場合は、追試験は受験できなくなり、その科目の評点は0点となります。
- ③再試験 ————— 定期試験の結果、不合格（60点未満）となった場合に実施され、受験手続きが必要です。（受験料：1科目2,000円）
- ④履修無効 ————— 定期試験を欠席し、試験終了後1週間以内に「試験欠席届」の提出がない場合、その授業科目は「履修無効」となります。
- ⑤受験手続き ————— 追試験、再試験を受験するには、その科目の試験日の2日前までに受験申込手続きを完了してください。
 ◎再試験受験手続き<証明書自動発行機 1科目2,000円>
 ◎追試験受験手続き<リハビリテーション科学課窓口 無料>

卒業に必要な単位数

◆単位とは

その授業の学習目標を達成したことの証拠となるものです。

授業に出席するだけでなく、予習と復習を行い、定期試験やレポートなどで所定の成果が得られて初めて単位を得た(修得した)ことになります。なお、予習と復習の学習内容については、シラバスの「学習の準備」欄に具体的に記載してあったり、担当教員から指示があります。

卒業のために必要な単位数は学部・学科ごとに定められています。自分がこれまで何単位を修得しているか、卒業するためにはどの分野の科目を何単位修得すればよいかなどを把握しておくことが重要です。

本学の1授業時間は、80分です。15回の授業に予習と復習を合わせて2単位となることが基本ですが、1.5単位であったり、また語学や演習科目、実験科目などは1単位となる場合があります。

2021年度第1・2・3学年適用

理学療法学科

区分	全学教育科目		専門教育科目
最低必要単位数	必修18単位	選択10単位	104単位
小計	28単位		
合計	132単位(卒業要件)		

作業療法学科

区分	全学教育科目		専門教育科目
最低必要単位数	必修20単位	選択8単位	106単位
小計	28単位		
合計	134単位(卒業要件)		

言語聴覚療法学科

区分	全学教育科目		専門教育科目
最低必要単位数	必修16単位	選択11単位	100単位
小計	27単位		
合計	127単位(卒業要件)		

2021年度第4学年適用

理学療法学科

区分	全学教育科目		専門教育科目
最低必要単位数	必修19単位	選択8単位	101単位
小計	27単位		
合計	128単位(卒業要件)		

作業療法学科

区分	全学教育科目		専門教育科目
最低必要単位数	必修19単位	選択8単位	101単位
小計	27単位		
合計	128単位(卒業要件)		

言語聴覚療法学科

区分	全学教育科目		専門教育科目
最低必要単位数	必修16単位	選択11単位	106.5単位
小計	27単位		
合計	133.5単位(卒業要件)		

◆授業科目の履修について

- ◎学期の初めに、単位を修得しようとする科目について、所定の期日までに手続きを行わなければなりません。
- ◎履修登録した科目は一切の変更を認めません。
- ◎履修登録した科目以外の履修は認められません。
- ◎各学年において履修する授業科目科目及び単位数は、配当学年内に履修、修得することを原則とします。
- ◎リハビリテーション科学部は学科ごとに授業科目及び履修要件が異なっています。所属する学科の開講科目と開講年次に留意の上、履修してください。

履修については履修規程を熟読の上、履修登録を行ってください。

作業療法学科における履修に関する注意点

◆音楽療法士（2種）コースについて

音楽療法士称号取得資格についてはコース制となっています。

コースへの登録については、下記の手続き等が必要となりますので、十分注意の上、時期や提出物等の間違いがないようにしてください。

○コース定員 原則として8名上限

- 履修要件
- 1) 音楽療法士（2種）養成コースで学ぶ意思が明確であること
 - 2) コースを履修するには、どの学年においても仮進級者ではないこと
 - 3) コース登録以降の学年進行において、留年もしくは仮進級となった場合には、コース登録を取り止めとすること

○手続きの流れ

学年	時期	内容
1年次	4月	音楽療法士養成コース説明会、履修相談期間
	9月	音楽療法士養成コース説明会、志願理由書の配布
	9月～11月	履修相談期間
	12月初旬	志望理由書提出
	1月中旬	面接・実技試験の実施
	3月	決定・発表
2年次	4月	コース学生を対象とした説明会

（注1）選択方法については1年次からガイダンスで説明する。

（注2）音楽療法士（2種）コースを希望する学生は、下記の科目を該当学年（1年次）において履修することが必要である。

〔コース必修科目〕

- ・音楽理論（1年前期）
- ・文化人類学（1年前期）
- ・ソルフェージュ（1年後期）
- ・器楽（鍵盤）（1年後期）
- ・心理学（1年後期）

〔学科必修科目〕

- ・作業療法技術学演習Ⅰ（1年後期）
- ・コミュニケーション実践論（1年前期）
- ・リハビリテーション概論（1年前期）
- ・多職種連携入門（1年前期）
- ・生物学（1年前期）
- ・英語A（1年前期）
- ・医学概論（1年前期）
- ・医療倫理（1年後期）
- ・生命科学（1年後期）

◆音楽療法士(2種)コース

区分	授業科目	授業題目	配当年次	単位数		
				コース必修	OT学科必修	
音楽に関する分野 (18単位)	理論に関する科目群 (4単位)	音楽理論	1前	2		
		人間と文化	1前	2		
	実技に関する科目群 (14単位)	ソルフェージュ		1後	2	
		器楽(鍵盤)		1後	2	
		器楽(弦)		2前	2	
		伴奏法		2前	2	
		合唱		3前	2	
		アンサンブル		3後	2	
		即興演奏		4後	2	
	音楽療法に関する分野 (8単位)	作業療法技術学演習Ⅰ		1後		1
音楽療法(OT選択科目)			3前	1		
音楽療法各論(OT選択科目)			3前	1		
音楽療法各論Ⅱ			3後	2		
音楽療法総合演習			4後	3		
音楽療法に関連分野 (12単位)	教育に関する科目群(2単位以上)	基礎ゼミナール	コミュニケーション実践論	1前		2
		教育相談(カウンセリング)		4後	1	
	福祉に関する科目群(2単位以上)	障がい者当事者論		2前		1
		日常生活援助学Ⅰ		2後		1
	医学・看護に関する科目群 (2単位以上)	医学概論		1前		1
		リハビリテーション概論		1前		2
		精神医学Ⅰ		2前		2
	心理に関する科目群(2単位以上)	人間と思想	心理学(全学選択科目)	1後	2	
		臨床心理学		2後		1
	音楽療法実習(3単位) *事前・事後指導1単位を含む	総合臨床実習Ⅱ		4前		8
「音楽療法士(2種)の称号の授与規定」第3条の3項に規定する教養関連科目(12単位) *外国語コミュニケーション2単位と情報処理2単位を含む	多職種連携	多職種連携入門	1前		2	
	医療倫理	医療倫理	1後		2	
	自然科学入門	生命科学		1後		2
		生物学		1前		2
	統計学	基礎統計学		2前		2
	英語Ⅰ	英語A		1前		1
	英語Ⅱ、初修外国語	英語Ⅱ、中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語から一つ選択 (OT卒業要件:語学4単位以上修得すること)		1後 2前・後の いずれか		1
総計				28	31	

リハビリテーション科学部履修規程

(目的)

第1条 この規程は、北海道医療大学学則（以下「学則」という。）第35条に定めるリハビリテーション科学部学生の履修方法等について、必要な事項を定める。

(履修)

第2条 授業科目の所定の授業時間数の70%以上に出席し、試験等を受験した者は当該授業科目を履修したものとする。

(修得)

第3条 前条に定める履修の要件を満たし、試験等の結果、当該授業科目の評価が可以上の成績に認定された者は当該授業科目を修得したものとする。

(失格)

第4条 この規程において失格とは、第2条に定める当該授業科目への出席が70%未満で、試験を受験する資格がないことをいう。

(授業科目)

第5条 各学年において履修する授業科目は、配当学年内に修得することを原則とする。

2 在籍する学年より下級学年に配当されている授業科目を履修することは、支障のない限り許可されるが、上級学年に配当されている授業科目を履修することはできない。

(コース制)

第6条 作業療法学科には次に掲げる履修コースを置くものとする。

(1) 作業療法学科

音楽療法士コース（定員8名）

2 この規定に定めるものの他、当該コース制における登録及び履修方法等について必要な事項は別に定める。

(履修手続)

第7条 授業科目を履修するには、学期の始めに、当該学期に履修しようとする授業科目について、指定された期間内に履修届をリハビリテーション科学課に提出し、履修登録をしなければならない。

2 前項に定める手続を行わない者は、当該学期に当該授業科目を履修することはできない。

3 履修登録した授業科目の変更、追加、取り消しは認めない。

4 卒業の要件として修得すべき単位数について、1年間に履修登録することができる単位数の上限は、原則として48単位とする。ただし、編入学生についてはこの限りではない。

(試験)

第8条 履修登録した授業科目の単位修得のために試験を行う。

2 試験には、定期試験、追試験、再試験及び仮進級者試験がある。ただし、授業科目により、その他随時諸種の試験等を行うことがある。

3 次の各号のいずれかに該当する者は試験を受験することができない。

(1) 前条に定める履修登録をしていない者

(2) 失格となった者

(3) 試験開始時間に20分を超えて遅参した者

(4) 学生証を所持しない者

(5) 授業料、その他納入金を所定の期日までに完納していない者

4 試験日程及び時間割等は、別に定める。

(定期試験)

第9条 定期試験は各学期末に行う。

(試験欠席届)

第10条 前条に定める定期試験を欠席した者は、当該授業科目の試験終了後、1週間以内に試験欠席届をリハビリテーション科学課に提出しなければならない。この場合、当該試験欠席届には、欠席の事由により、次の各号に定める書類を添付しなければならない。

(1) 疾病による場合

医師の診断書(受験できなかった事由、期間が記載されているもの)

(2) 交通事故の場合

警察署の事故証明書又は交通機関の管理者の事故・遅延等の証明書(ただし、証明書が発行されない交通機関等の場合は、速やかに申し出ること。)

(3) 忌引の場合

保証人の証明書

(4) その他緊急やむを得ない場合

理由書

2 前項に定める届出のない者は、受験放棄とみなし、当該授業科目を履修無効とする。

3 第1項の届出における欠席の事由が正当と認められない者は、当該授業科目の評点を0点とみなし、当該年度における当該授業科目の以後の受験を認めない。

(追試験)

第11条 追試験とは、前条の届け出における欠席の事由が正当と認められた者に対して行う試験をいう。

2 追試験を受験する者は「追試験申込書」を指定の期限までにリハビリテーション科学課に提出し、手続きを完了しなければならない。

3 前項に定める受験手続きを完了していない者及び追試験を欠席した者は、原則として、当該授業科目の評点を0点とみなし、当該年度における当該授業科目の以後の受験を認めない。

(再試験)

第12条 再試験とは、定期試験の結果が60点未満の者に対して行う試験をいう。

2 再試験を受験する者は、「再試験申込書」に受験料(1科目2,000円)を添えて、指定の期限までにリハビリテーション科学課に提出し、手続きを完了しなければならない。

3 再試験における成績の評価は、可(60点)以下とする。

4 第2項に定める受験手続きを完了していない者及び再試験を欠席した者は、原則として、当該授業科目の成績は定期試験時の評点とし、当該年度における当該授業科目の以後の受験を認めない。

(試験中の不正行為)

第13条 試験中に不正行為をした者及び試験監督者の指示に従わなかった者には、即時試験場から退場を命じ、以後の受験を停止し、学則第44条に基づき懲戒する。

2 前項の不正行為をした者は当該授業科目並びに当該試験期間中の受験該当授業科目全科目の評点を0点とみなす。

(受験心得)

第14条 受験心得については、別に定める。

(英語検定試験による単位認定)

第15条 本学部が教育上有益と認めるときは、大学以外の教育施設等における学修のうち、文部科学大臣が定める学修に相当する英語検定等の学修を本学部の授業科目の履修とみなし、所定の科目の単位として認定することができる。

2 前項の単位の認定に係る必要事項については、別に定める。

(進級判定)

第16条 進級の判定は、学年末に教授会において行う。

(進級・仮進級)

第17条 当該学年に担当されている必修科目をすべて修得した者は、進級とする。

2 当該学年に担当されている必修科目（実習科目を除く）の合計のうち20%を超えない不合格科目数の場合は、仮進級とすることができる。ただし、実習科目が不合格、または必修科目が失格・履修無効となった者は、原則として仮進級できない。

3 第4学年への仮進級は認めない。

(仮進級者試験)

第18条 仮進級者試験とは、仮進級者に対して当該不合格必修科目について行う試験をいう。

2 仮進級者試験での不合格科目は、その年度の不合格科目数に加算する。

3 仮進級者試験は、第12条の「再試験」を読み替えて準用する。

4 前項の規定にかかわらず、教授会で適当と認められた者は仮進級とする場合がある。

(留年)

第19条 第17条に定める進級または仮進級の条件を満たさない者は、留年とする。

2 留年した者は、当該学年に担当されている必修の不合格科目及び失格・履修無効となった科目を再履修しなければならない。

(臨床実習の履修資格)

第20条 次の各号に定める要件を満たした者に対し、臨床実習の履修資格を与える。

(1) 理学療法学科

ア 臨床実習Ⅲは、第3学年前期までに担当されている必修科目を全て修得した者。

(2) 作業療法学科

ア 評価実習は、第1学年のリハビリテーション基礎科目および作業療法専門科目の必修科目を全て修得し、第2学年のリハビリテーション基礎科目の必修科目のうち未修得科目が1科目以下、作業療法専門科目の必修科目のうち未修得科目が1科目以下であり、かつ、第3学年前期の必修科目のうち未修得科目が1科目以下の者。なお、判定は第3学年の前期終了後に行う。

(3) 言語聴覚療法学科

ア 基礎実習は、第3学年前期までに担当されている必修科目をすべて修得した者。ただし、編入学生についてはこの限りではない。

(補則)

第21条 この規程に定めのない事項は、教授会で決定する。

(改廃)

第22条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学部長が決定する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成26年4月1日から施行し、平成26年度入学生から適用する。

2 平成25年4月1日以前に入学した者が平成26年4月1日以後に1年次に入学した者と同一学年となった場合にはこの規程を適用する。

附 則

この規程は、平成27年10月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。

2 改正後の規程は、平成29年4月1日現在で在籍する学生にも適用する。

附 則

この規程は、平成29年5月10日から施行する。ただし、改正後の第17条は、平成29年度入学生から適用する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

リハビリテーション科学部作業療法学科のコース制の履修方法等に関する細則

(目的)

第1条 この細則は、リハビリテーション科学部履修規程（以下「履修規程」という）第6条に定める作業療法学科の履修コースについて、必要な事項を定める。

(コース制)

第2条 作業療法学科に、次に掲げる履修コース（以下「コース」という。）を置くものとする。

音楽療法士コース

(国家試験受験資格及び称号取得資格)

第3条 作業療法学科において取得可能な国家試験受験資格及び称号取得資格は、次に掲げるとおりである。

作業療法士国家試験受験資格

音楽療法士（2種）称号取得資格（全国音楽療法士養成協議会認定）

2 音楽療法士（2種）称号を取得するためには、音楽療法士コースに登録し、当該コースで開設する科目の履修及び単位修得が必要である。

(コース登録手続)

第4条 音楽療法士コースに登録するには、1年次開講の音楽療法士コース必修科目を履修し、かつ、所定の申請手続きを取らなければならない。

2 前項に定める登録手続きについては、所定の申請用紙を1年次後期の指定する期限までに提出しなければならない。

3 所定の申請用紙にて登録希望を申し出た学生を対象として、学科より選出した教員によって1年次後期終了時に選考を行う。なお、コース登録には仮進級者ではないことを必須条件とする。

4 選考結果は、教務委員会において承認し、教務委員会は最終結果を教授会に報告する。

5 選考結果に基づきコース登録が認められた学生は、定められた履修費を指定する期日までに納めるものとする。納入した履修費はいかなる場合も返還しない。

6 コースの登録後の取止めについては、コース担当教員と相談の上、所定の辞退届を提出する。

(コース登録学生数の制限)

第5条 音楽療法士コースに登録できる学生数は、原則として8名を上限とする。

(編入学生の取扱)

第6条 編入学生がコース登録するには、所定の手続きを取らなければならない。

2 コース登録を希望する学生は、所定の用紙を入学時に提出し、学科より選出した教員によって選考を行う。

3 選考の結果は、教務委員会において承認し、教務委員会は最終結果を教授会に報告する。

(コース履修の条件)

第7条 コースを履修するには、どの学年においても仮進級者ではないことを必須条件とする。

2 コース登録以降の学年進行において、留年もしくは仮進級となった場合には、コース登録を取り止めとし、第4条第6項に基づく手続きを取るものとする。

(その他)

第8条 コースの履修に関する事項については、この細則に定めるもののほか、北海道医療大学学則、リハビリテーション科学部履修規程の定めるところによる。

(改廃)

第9条 この細則の改廃は、教授会の議を経て学部長が決定する。

附 則

この細則は、平成31年4月1日から施行する。

リハビリテーション科学部理学療法学科カリキュラムツリー (2021年度第1~3学年適用)

入学者受け入れの方針
(アドミッション・ポリシー)

教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

高校卒業 / 高校の学び

大学入学 / 大学の学び

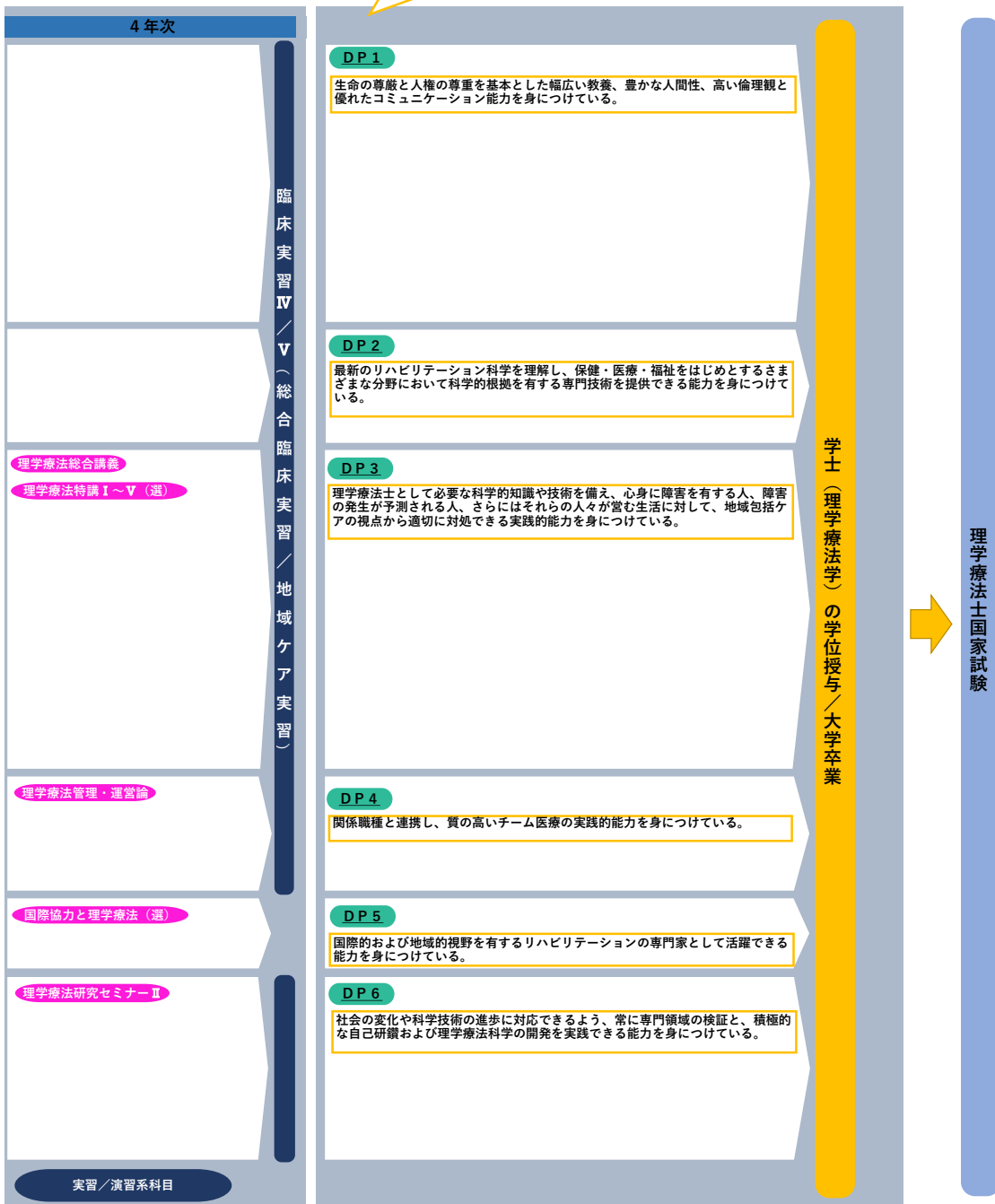
1 年次	2 年次	3 年次
<ul style="list-style-type: none"> 英語 A 英語コミュニケーション A 情報処理演習 物理学 生物学 (選) 日本の文学 (選) 文化人類学 (選) 経済学入門 (選) 生命科学 (選) 社会学入門 (選) 医療の法学 (選) 科学技術社会と倫理 (選) 哲学入門 (選) 化学 (選) コミュニケーション実践論 医療倫理 多職種連携入門 日本語の表現 (選) 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎統計学 英語 B (選) 英語コミュニケーション B (選) 中国語 (選) 韓国語 (選) フランス語 (選) ドイツ語 (選) 医療コミュニケーション 	
<ul style="list-style-type: none"> リハビリテーション概論 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者当事者論 日常生活動作学 I・II 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア論 (選) 積雪寒冷地の生活と諸問題 (選) 地域理学療法学 生活環境論 (選) 地域理学療法学演習
<ul style="list-style-type: none"> 物理学 基礎数理 英語 A 運動科学演習 I・II 哲学入門 (選) 文化人類学 (選) 医療の法学 (選) 経済学入門 (選) 生物学 (選) 化学 (選) 心理学 (選) 解剖学 I・II 生理学 I・II 運動学 I・II 医学概論 人間発達学 公衆衛生学 リハビリテーション概論 医療数学入門 (選) 医療物理入門 (選) 医療生物入門 (選) 理学療法概論 	<ul style="list-style-type: none"> 病理学 整形外科学 内科学 神経学 小児科学 臨床心理学 リハビリテーション医学 薬理学 精神医学 I 精神医学 II (選) 栄養学 高次脳機能障害学 (選) 理学療法基礎評価学 I・II 運動療法学 I・II 義肢装具学 I 解剖学実習 	<ul style="list-style-type: none"> 画像評価学 物理療法学 義肢装具学 II 骨関節障害理学療法学 神経障害理学療法学 発達障害理学療法学 内部障害理学療法学 I・II
<ul style="list-style-type: none"> 臨床実習 I (見学実習) 	<ul style="list-style-type: none"> 臨床実習 II (検査測定実習) 	<ul style="list-style-type: none"> 臨床実習 III (総合臨床実習)
<ul style="list-style-type: none"> 社会保障制度論 	<ul style="list-style-type: none"> 整形外科学 内科学 神経学 小児科学 リハビリテーション医学 精神医学 I 精神医学 II (選) 高次脳機能障害学 (選) 	<ul style="list-style-type: none"> 多職種連携論
<ul style="list-style-type: none"> 国際社会福祉論 (選) 		
<ul style="list-style-type: none"> 生理学実習 	<ul style="list-style-type: none"> 運動学実習 	<ul style="list-style-type: none"> 理学療法研究法 理学療法研究セミナー I 骨関節障害理学療法学演習 神経障害理学療法学演習 発達障害理学療法学演習 内部障害理学療法学演習
<ul style="list-style-type: none"> 全学教育科目 (教養/健康・運動科学/外国語/情報科学/自然科学) 	<ul style="list-style-type: none"> 全学教育科目 (導入/医療基盤) 	<ul style="list-style-type: none"> リハビリテーション基礎科目
		<ul style="list-style-type: none"> 理学療法専門科目

北海道医療大学 三方針

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

に基づき、入学から学位授与（卒業）までの『学びの過程』と、その『学びと仕事（理学療法士）への繋がり』を表に示しています。

学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー：DP)



リハビリテーション科学部理学療法学科カリキュラムツリー (2021年度第4学年適用)

入学者受け入れの方針
(アドミッション・ポリシー)

教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

高校卒業 / 高校の学び

大学入学 / 大学の学び



臨床実習Ⅰ (見学実習)

臨床実習Ⅱ (検査測定実習)

臨床実習Ⅲ (総合臨床実習)

北海道医療大学 三方針

入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

} に基づき、入学から学位授与（卒業）までの『学びの過程』と、その『学びと仕事（理学療法士）への繋がり』を表に示しています。

学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー：DP)

4 年次

理学療法管理・運営論

臨床実習Ⅳ／Ⅴ（総合臨床実習／地域ケア実習）

理学療法総合講義

選択科目群

理学療法研究セミナーⅡ

実習／演習系科目

DP 1

人は人の中でこそ人として生きていけます。お互いがお互いの命や生きることの意味を大切に思える心と感性、そのために必要な幅広い教養、そしてそれを対象者と共有することのできるコミュニケーションを身につけます。

DP 2

近代医療は“チーム医療”がとても重要です。各医療職の専門性はますます進化していきますので、今後さらに“チーム医療力”が病院・施設などの“臨床力”として特に重要になります。自分の職種と他の職種のそれぞれの役割と専門性をきちんと理解し、患者と家族をチーム医療力でしっかりとサポートできる能力を身につけます。

DP 3

医学の進歩によって救命ができるようになり、また平均余命も伸びてきました。これからは、健康を損なっている人、病气やけがで心身に障がいを持っている人たちが地域でその人らしい生活を営めるように、保健・医療・福祉の各分野で活躍する専門職種が連携しあって、地域全体で支援していくことが重要です。その視点を持って理学療法士の専門的な知識と技術を適切に提供できる能力を身につけます。

DP 4

リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。

DP 5

世界の、そして我が国の人口構成の変化、価値観の変化、文化や暮らしの変化、そして絶えず発展し続ける科学、そして医学。その中で私たちは常に人々の健康とより良い暮らしへのニーズに理学療法科学をもって応えていかなければなりません。その専門性をより広く、深く、科学的に追究していくために、能動的に研修と研究を通して自己研さんしていきける能力を身につけます。

学士（理学療法学）の学位授与／大学卒業

理学療法士国家試験

リハビリテーション科学部作業療法学科カリキュラムツリー (2021年度第1~3学年適用)

入学者受け入れの方針
(アドミッション・ポリシー)

教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

高校卒業 / 高校の学び

大学入学 / 大学の学び

1 年次	2 年次	3 年次
<ul style="list-style-type: none"> 英語 A 英語コミュニケーション A 情報処理演習 生物学 生命科学 物理学 (選) 経済学入門 (選) 文化人類学 (選) 日本の文学 (選) 社会学入門 (選) 医療の法学 (選) 科学技術社会と倫理 (選) 哲学入門 (選) 化学 (選) コミュニケーション実践論 医療倫理 多職種連携入門 日本語の表現 (選) 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎統計学 英語 B (選) 英語コミュニケーション B (選) 中国語 (選) 韓国語 (選) フランス語 (選) ドイツ語 (選) 	
<ul style="list-style-type: none"> リハビリテーション概論 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい当事者論 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア論 (選) 積雪寒冷地の生活と諸問題 (選) 地域作業療法学 ハンドセラピー 地域作業療法学演習
<ul style="list-style-type: none"> 生物学 基礎数理 英語 A 運動科学演習 I・II 物理学 (選) 哲学入門 (選) 文化人類学 (選) 経済学入門 (選) 化学 (選) 医療の法学 (選) 心理学 (選) 解剖学 I・II 生理学 I・II 運動学 I・II 医学概論 人間発達学 公衆衛生学 リハビリテーション概論 医療数学入門 (選) 医療物理入門 (選) 医療生物入門 (選) 作業療法概論 作業療法技術学演習 I 音楽理論 ソルフェージュ 器楽 (鍵盤) 	<ul style="list-style-type: none"> 病理学 整形外科学 内科学 神経学 高次脳機能障害学 精神医学 I・II 小児科学 リハビリテーション医学 臨床心理学 薬理学 栄養学 評価学概論 身体機能評価学 I・II 精神系評価学 発達障害作業療法学 日常生活援助学 I 発達系評価学 解剖学実習 評価学実習 作業適用学演習 作業療法技術学演習 II 器楽 (弦) 伴奏法 	<ul style="list-style-type: none"> 画像評価学 日常生活援助学 II 身体障害作業療法学 義肢装具学 精神障害作業療法学 就業援助論 老年期障害作業療法学 I・II 高次脳機能障害作業療法学 呼吸リハビリテーション学 ハンドセラピー 音楽療法 (選) 音楽療法各論 (選) 高次脳機能障害作業療法学演習 精神障害作業療法学実習 身体障害作業療法学実習 I・II 発達障害作業療法学演習 合唱 アンサンブル 音楽療法各論 II
<ul style="list-style-type: none"> 臨床見学 	<ul style="list-style-type: none"> 整形外科学 内科学 神経学 小児科学 高次脳機能障害学 精神医学 I・II リハビリテーション医学 	<ul style="list-style-type: none"> 多職種連携論
<ul style="list-style-type: none"> 国際社会福祉論 (選) 		
<ul style="list-style-type: none"> 生理学実習 	<ul style="list-style-type: none"> 運動学実習 	<ul style="list-style-type: none"> 作業療法研究法 作業療法研究セミナー I
<ul style="list-style-type: none"> 全学教育科目 (教養・健康・運動科学 / 外国語 / 情報科学 / 自然科学) 	<ul style="list-style-type: none"> 全学教育科目 (導入 / 医療基盤) 	<ul style="list-style-type: none"> リハビリテーション基礎科目 作業療法専門科目 実習 / 演習系科目

評価実習

北海道医療大学 三方針

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

} に基づき、入学から学位授与（卒業）までの『学びの過程』と、その『学びと仕事（作業療法士）への繋がり』を表に示しています。

学位授与の方針
 （ディプロマ・ポリシー：DP）

4年次

職業倫理・管理学

作業療法総合講義

即興演奏 音楽療法総合演習

教育相談（カウンセリング）

職業倫理・管理学

作業療法研究セミナーⅡ

音楽療法士コース科目

総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ

DP 1

生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。

DP 2

最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力を身につけている。

DP 3

作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

DP 4

関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力を身につけている。

DP 5

国際的および地域の視野を有するリハビリテーションの専門家として活躍できる能力を身につけている。

DP 6

社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および作業療法科学の開発を実践できる能力を身につけている。

学士（作業療法学）の学位授与／大学卒業

作業療法士国家試験

リハビリテーション科学部作業療法学科カリキュラムツリー (2021年度第4学年適用)

入学者受け入れの方針
(アドミッション・ポリシー)

教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

高校卒業 / 高校の学び

大学入学 / 大学の学び

総合臨床実習 I

1 年次	2 年次	3 年次
<p>英語 I (A) 情報処理演習</p> <p>生命科学 選択科目群</p> <p>医療倫理 コミュニケーション実践論</p> <p>日本語の表現 個体差健康科学</p>	<p>英語 I (B) 選択科目群</p>	<p>選択科目群</p> <p>基礎統計学</p>
<p>選択科目群</p>	<p>メディカルカフェをつくる (選)</p>	<p>多職種連携論</p>
<p>リハビリテーション概論</p>	<p>障がい者当事者論</p>	<p>地域包括ケア演習 (選)</p> <p>積雪寒冷地の生活と諸問題</p> <p>地域作業療法学 保健医療福祉論</p> <p>地域作業療法学演習</p>
<p>心理学 生物学 基礎数理</p> <p>運動科学演習 選択科目群</p> <p>解剖学 I・II 生理学 I・II</p> <p>運動学 I 医学概論</p> <p>作業療法概論 作業適用学</p>	<p>運動生理学 運動学 II</p> <p>老年学 人間発達学 内科学</p> <p>整形外科学 神経学 病理学</p> <p>小児科学 公衆衛生学</p> <p>病態運動学 精神医学 I・II</p> <p>臨床心理学 高次脳機能障害学</p> <p>選択科目群</p> <p>評価学概論 身体機能評価学 I</p> <p>発達系評価学 精神機能評価学</p> <p>日常生活援助学</p> <p>解剖学実習 評価学実習</p> <p>作業療法技術学演習 I・II</p>	<p>身体機能評価学 II</p> <p>身体障害作業療法学</p> <p>精神障害理学療法学</p> <p>発達障害作業療法学 義肢装具学</p> <p>老年期障害作業療法学</p> <p>高次脳機能障害作業療法学</p> <p>リハビリテーション工学 選択科目群</p> <p>高次脳機能障害作業療法学演習</p> <p>日常生活援助学演習</p> <p>身体障害作業療法学演習</p> <p>精神障害作業療法学演習</p> <p>発達障害作業療法学演習</p> <p>老年期障害作業療法学演習</p>
<p>生理学実習</p>	<p>運動学実習</p>	<p>作業療法研究法</p> <p>作業療法研究セミナー I</p>
<p>全学教育科目 (教養 / 健康・運動科学 / 外国語 / 情報科学 / 自然科学)</p>	<p>全学教育科目 (導入 / 医療基礎)</p>	<p>リハビリテーション基盤科目</p> <p>作業療法専門科目</p>

北海道医療大学 三方針

入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

} に基づき、入学から学位授与（卒業）までの『学びの過程』と、その『学びと仕事（作業療法士）への繋がり』を表に示しています。

学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー：DP)

4 年次

職業倫理・管理学

就業援助論
作業療法総合講義

作業療法研究セミナーⅡ

実習／演習系科目

総合臨床実習Ⅱ

DP 1

人は人の中でこそ人として生きていけます。お互いがお互いの命や生きることの意味を大切に思える心と感性、そのために必要な幅広い教養、そしてそれを対象者と共有することのできるコミュニケーションを身につけます。

DP 2

近代医療は“チーム医療”がとても重要です。各医療職の専門性はますます進化していきますので、今後さらに“チーム医療力”が病院・施設などの“臨床力”として特に重要になります。自分の職種と他の職種のそれぞれの役割と専門性をきちんと理解し、患者と家族をチーム医療力でしっかりとサポートできる能力を身につけます。

DP 3

医学の進歩によって救命ができるようになり、また平均余命も伸びてきました。これからは、健康を損なっている人、病气やけがで心身に障がいを持っている人たちが地域でその人らしい生活を営めるように、保健・医療・福祉の各分野で活躍する専門職種が連携しあって、地域全体で支援していくことが重要です。その視点を持って作業療法の専門的な知識と技術を適切に提供できる能力を身につけます。

DP 4

リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。

DP 5

世界の、そして我が国の人口構成の変化、価値観の変化、文化や暮らしの変化、そして絶えず発展し続ける科学、そして医学。その中で私たちは常に人々の健康とより良い暮らしへのニーズに作業療法科学をもって応えていかなければなりません。その専門性をより広く、深く、科学的に追究していくために、能動的に研修と研究を通して自己研さんしていける能力を身につけます。

学士（作業療法学）の学位授与／大学卒業

作業療法士国家試験

リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科カリキュラムツリー (2021年度第1~3学年適用)

入学者受け入れの方針
(アドミッション・ポリシー)

教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

高校卒業 / 高校の学び

大学入学 / 大学の学び

1 年次	2 年次	3 年次
<p>英語 A 英語コミュニケーション A 情報処理演習 基礎統計学 生命科学 物理学 (選) 生物学 (選) 日本の文学 (選) 文化人類学 (選) 経済学入門 (選) 哲学入門 (選) 社会学入門 (選) 医療の法学 (選) 科学技術社会と倫理 (選) 化学 (選) コミュニケーション実践論 医療倫理 多職種連携入門 日本語の表現 (選) 医療生物入門 (選)</p>	<p>英語コミュニケーション B (選) 英語 B (選) 中国語 (選) 韓国語 (選) フランス語 (選) ドイツ語 (選)</p>	<p>言語聴覚学総論 II</p>
<p>言語聴覚障害学概論 リハビリテーション概論</p>	<p>発声発語障害学 I 摂食嚥下障害学</p>	<p>地域包括ケア論 (選) 言語聴覚学総論 I・II 発声発語障害学演習 II 摂食嚥下障害学演習</p>
<p>英語 A 運動科学演習 I・II 心理学 (選) 哲学入門 (選) 文化人類学 (選) 医療の法学 (選) 経済学入門 (選) 基礎数理 (選) 物理学 (選) 生物学 (選) 化学 (選) 言語聴覚障害学概論 解剖生理学 I・II 言語学 音声学 音声言語聴覚医学 音響学 認知心理学 学習心理学 発達心理学 リハビリテーション概論</p>	<p>言語聴覚診断学総論 内科学 病理学 形成外科学 医学総論 神経学 言語発達学 関係法規 心理測定法 臨床心理学 精神医学 耳鼻咽喉科学 歯科学総論 小児科学 リハビリテーション医学 口腔外科学 解剖生理学 III (選) 日本語学 (選) 心理言語学 (選) 生理心理学 (選) 失語症学 I・II 言語発達障害学 I 摂食嚥下障害学 聴覚障害学 I 発声発語障害学 I・II 聴覚障害学演習 I</p>	<p>言語聴覚学総論 I~III 高次脳機能障害学 言語発達障害学 II 聴覚障害学 II 失語症学演習 I・II 言語発達障害学演習 聴覚障害学演習 II 発声発語障害学演習 I・II 摂食嚥下障害学演習 高次脳機能障害学演習</p>
<p>国際社会福祉論 (選)</p>	<p>内科学 小児科学 精神医学 神経学 リハビリテーション医学 歯科学総論 公衆衛生学 (選) 失語症学 I・II</p>	<p>多職種連携論 言語聴覚学総論 I 社会保障制度論 高次脳機能障害学 失語症学演習 I・II 高次脳機能障害学演習 発声発語障害学演習 II 摂食嚥下障害学演習</p>
		<p>英語論文精読 (選) 研究法 (選)</p>
		<p>言語聴覚学総論 I 英語論文精読 (選) 言語聴覚ゼミナール I 研究法 (選)</p>

臨床実習 (基礎実習)

全学教育科目 (教養 / 健康・運動科学 / 外国語 / 情報科学 / 自然科学)

全学教育科目 (導入 / 医療基盤)

言語聴覚学総合教育科目

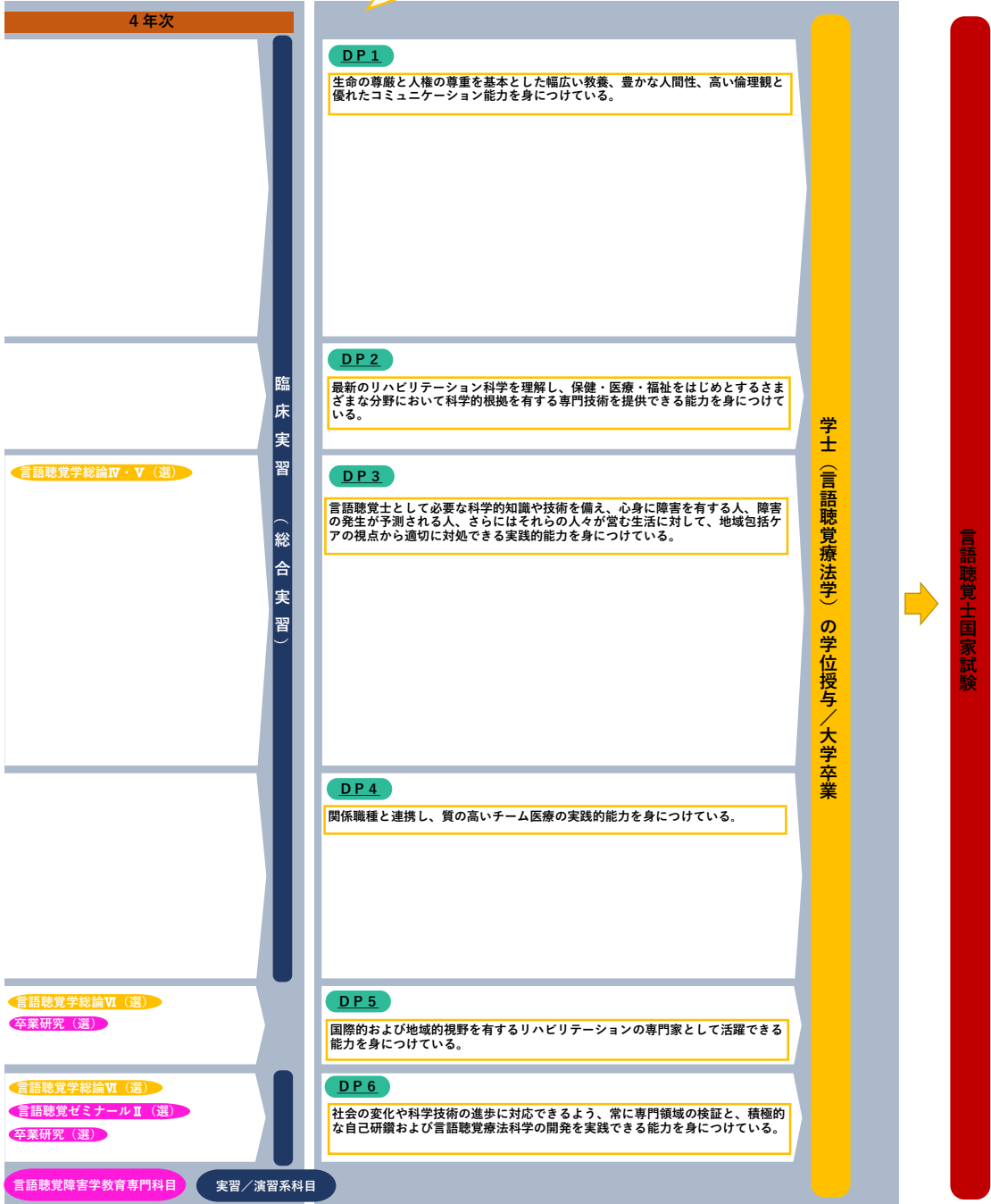
言語聴覚学基礎教育科目

北海道医療大学 三方針

入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

に基づき、入学から学位授与（卒業）までの『学びの過程』と、その『学びと仕事（言語聴覚士）への繋がり』を表に示しています。

学位授与の方針
 （ディプロマ・ポリシー：DP）



リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科カリキュラムツリー (2021年度第4学年適用)

入学者受け入れの方針
(アドミッション・ポリシー)

教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

		1年次	2年次	3年次	
高校卒業／高校の学び	大学入学／大学の学び	英語 I (A) 情報処理演習 統計学 生命科学 選択科目群 医療倫理 コミュニケーション実践論 日本語の表現 個体差健康科学	英語 I (B) 選択科目群	選択科目群	臨床実習 (基礎実習)
		選択科目群	メディカルカフェをつくる (選) 医学総論	多職種連携論 社会福祉制度論 選択科目群	
		リハビリテーション概論	言語聴覚学総論 I	地域包括ケア演習 (選) 言語聴覚学総論 II	
		運動科学演習 選択科目群 基礎人間科学 音声学 解剖生理学 音声言語聴覚医学 言語学 認知心理学 学習心理学 発達心理学 言語聴覚障害学概論	内科学 病理学 小児科学 形成外科学 音響学 言語発達学 臨床心理学 心理測定法 関係法規 耳鼻咽喉科学 精神医学 神経学 リハビリテーション医学 歯科学総論 口腔外科学 選択科目群 言語聴覚診断学総論 失語症学 I 失語症学 II 言語発達障害学 成人聴覚障害学	高次脳機能障害学 摂食嚥下障害学 言語発達障害学特論 成人発声発語障害学 小児発声発語障害学 失語症学演習 II 言語発達障害学演習 成人発声発語障害学演習 小児発声発語障害学演習 聴覚障害学演習	
		言語聴覚ゼミナール I 選択科目群			
		全学教育科目 (教養/健康・運動科学/外国語/情報科学/自然科学)	全学教育科目 (導入/医療基盤)	言語聴覚学総合教育科目	言語聴覚学基礎教育科目

北海道医療大学 三方針

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

に基づき、入学から学位授与（卒業）までの『学びの過程』と、その『学びと仕事（言語聴覚士）への繋がり』を表に示しています。

学位授与の方針 （ディプロマ・ポリシー：DP）

4 年次

選択科目群

言語聴覚学総論Ⅲ

言語聴覚学総論Ⅳ

選択科目群

言語聴覚障害学教育専門科目

臨床実習（総合実習）

実習／演習系科目

DP 1

人は人の中でこそ人として生きていけます。お互いがお互いの命や生きることの意味を大切に思える心と感性、そのために必要な幅広い教養、そしてそれを対象者と共有することのできるコミュニケーションを身につけます。

DP 2

近代医療は“チーム医療”がとても重要です。各医療職の専門性はますます進化していきますので、今後さらに“チーム医療力”が病院・施設などの“臨床力”として特に重要になります。自分の職種と他の職種のそれぞれの役割と専門性をきちんと理解し、患者と家族をチーム医療力でしっかりとサポートできる能力を身につけます。

DP 3

医学の進歩によって救命ができるようになり、また平均余命も伸びてきました。これからは健康を損なっている人、病気やけがで心身に障がいを持っている人たちが地域でその人らしい生活を営めるように、保健・医療・福祉の各分野で活躍する専門職種が連携しあって、地域全体で支援していくことが重要です。その視点を持って言語聴覚療法の専門的な知識と技術を適切に提供できる能力を身につけます。

DP 4

リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。

DP 5

世界の、そして我が国の人口構成の変化、価値観の変化、文化や暮らしの変化、そして絶えず発展し続ける科学、そして医学。その中で私たちは常に人々の健康とより良い暮らしへのニーズに言語聴覚療法科学をもって応えていかなければなりません。その専門性をより広く、深く、科学的に追究していくために、能動的に研修と研究を通して自己研さんしていける能力を身につけます。

学士（言語聴覚療法学）の学位授与／大学卒業

言語聴覚士国家試験

リハビリテーション学部 理学療法学科 全学教育科目(2021年度第1～3学年適用)

区分	授業科目	授業題目	単位数		開講年次・時間数								備考														
					1年		2年		3年		4年																
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期															
全学教育科目	導入科目	基礎ゼミナール	2	2	30																						
		文章指導				2	30																				
	教養科目	人間と思想	コミュニケーション実践論	2	2	30																					
			心理学			2	30																				
			科学技術社会と倫理 哲学入門	2	2	30																				2単位以上修得	
		人間と文化	文化人類学	2	2	30																					2単位以上修得
			日本の文学 ※1 経済学入門 ※2	2	2	30																					
	人間と社会	医療の法学 国際社会福祉論 社会学入門	2	2	30			30																		2単位以上修得	
		健康・運動科学演習	1	1	30																						
	外国語科目	英語 I	英語A	1	1	30																					
			英語B					30																			
		英語 II	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB	1	1	30											30										
			中国語			1											30										
		初修外国語	韓国語			1											30										
			フランス語			1											30										
			ドイツ語			1											30										
	情報科学科目	情報処理演習	1	1	30																						
		統計学	2	2			30																				
	自然科学科目	自然科学入門	基礎数理	2	2	30																					
			物理学	2	2		30																				
			生物学			2	30																				
			化学			2	30																				
			生命科学			2	30																				
	医療基礎科目	多職種連携	多職種連携入門	2	2	30																					
			多職種連携論	1	1												30										
医療倫理		全学連携地域包括ケア実践演習	2	2																						自由選択科目 ※3	
		医療倫理	2	2		30																					
地域連携	地域包括ケア論	2	2																								
	全学教育科目 合計28単位以上修得(うち必修18単位)																										

※1 環境の歴史—日本の文学(授業題目の変更 2020.4.1~)

※2 医療の経済学—経済学入門(授業題目の変更 2020.4.1~)

※3 自由選択科目:卒業必要単位数には含まない。

リハビリテーション学部 理学療法学科 専門教育科目(2021年度第1～3学年適用)

区分	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考															
				1年		2年		3年		4年																	
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期																
リハビリテーション基礎科目	解剖学 I	1	1	30																							
	解剖学 II	1	1		30																						
	解剖学実習	2	2					90																			
	生理学 I	1	1	30																							
	生理学 II	1	1		30																						
	生理学実習	1	1		45																						
	運動学 I	1	1	30																							
	運動学 II	1	1		30																						
	運動学実習	1	1						45																		
	人間発達学	2	2		30																						
	医学概論	1	1	15																							
	病理学	2	2			30																					
	整形外科学	3	3			45																					
	内科学	3	3					45																			
	神経学	3	3					45																			
	高次脳機能障害学		1						15																		
	小児科学	2	2			30																					
	精神医学 I	2	2			30																					
	精神医学 II		2						30																		
	リハビリテーション医学	2	2			30																					
	臨床心理学	1	1						15																		
	薬理学	1	1						15																		
	公衆衛生学	1	1			15																					
	栄養学	1	1						15																		
	リハビリテーション概論	2	2	30																							
	社会保障制度論	1	1			15																					
	障がい当事者論	1	1			30																					
	積雪寒冷地の生活と諸問題		1								30																
	医療数学入門		1			15																					
	医療物理入門		1			15																					
	医療生物入門		1			15																					
	理学療法専門科目	理学療法概論	2	2	30																						
		理学療法管理・運営論	1	1																							15
理学療法研究法		2	2						30																		
医療コミュニケーション		1	1						30																		
理学療法基礎評価学 I		2	2						60																		
理学療法基礎評価学 II		2	2						60																		
画像評価学		1	1												15												
物理療法学		2	2							60																	
運動療法学 I		1	1				30																				
運動療法学 II		1	1						30																		
義肢装具学 I		1	1						30																		
義肢装具学 II		1	1							45																	
日常生活動作学 I		1	1						30																		
日常生活動作学 II		1	1							30																	
骨関節障害理学療法学		3	3												45												
骨関節障害理学療法学演習		2	2																							60	
神経障害理学療法学		3	3												45												
神経障害理学療法学演習		2	2																							60	
発達障害理学療法学		2	2																								

リハビリテーション科学部 理学療法学科 全学教育科目(2021年度第4学年適用)

区分	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考						
				1年		2年		3年		4年								
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期		前期	後期				
全学教育科目	導入科目	基礎ゼミナル(コミュニケーション実践論)	1		30													
	教養科目	文章指導(日本語の表現)	1		30													
		人間と思想(心理学)	2		30													
		人間と思想(死生学入門)	2		30													
		人間と思想(哲学入門)	2		30													
		人間と社会(医療の経済学)	2		30													
		人間と社会(医療の法学)	2		30													
		人間と社会(国際社会福祉論)	2							30								
		人間と文化(文化人類学)	2		30													
		人間と文化(環境の歴史)	2						30									
	人間と文化(国際文化比較論)	2			30													
	健康・運動科学科目	健康・運動科学(生命科学)	2		30	30												
	外国語科目	英語 I (オーラル・イングリッシュA)	1		30													
		英語 I (オーラル・イングリッシュB)	1				30											
		英語 II (英語A)	1			30												
		英語 II (英語B)	1					30										
		中国語(中国語)	1		30													
		韓国語(韓国語)	1			30												
		フランス語(フランス語)	1						30									
情報科学科目	情報処理演習(情報処理演習)	1		30														
	統計学(基礎統計学)	2							30									
	自然科学入門(基礎数理)	1		30														
自然科学科目	自然科学入門(物理学)	2			30													
	自然科学入門(生物学)	2			30													
	自然科学入門(化学)	2			30													
	個別健康科学(個別健康科学)	2		30														
医療基盤科目	医療倫理(医療倫理)	2			30													
	地域連携(地域包括ケア演習)	1								30								
	地域連携(ヘルカワをつくるI)	1								30								
	多職種連携(多職種連携論)	1									30							
	多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)	2											30					
														30				
全学教育科目 合計27単位以上修得(うち必修19単位)																		

※ 自由選択科目:卒業必要単位数には含まない。

リハビリテーション科学部 理学療法学科 専門教育科目(2021年度第4学年適用)

区分	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考						
				1年		2年		3年		4年								
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期		前期	後期				
リハビリテーション基盤科目	解剖学 I	1		30														
	解剖学 II	1			30													
	解剖学実習	1					60											
	生理学 I	1		30														
	生理学 II	1			30													
	生理学実習	1					60											
	運動生理学	1					30											
	運動学 I	1			30													
	運動学 II	1					30											
	運動学実習	1						60										
	老年学	1					15											
	人間発達学	1					15											
	医学概論	1		15														
	病理学	1					15											
	整形外科	2					30											
	内科学	2						30										
	神経学	2							30									
	小児科学	1							15									
	精神医学	2							30									
	病態運動学	1								30								
	高次脳機能障害学	1	1							15								
	臨床心理学	1								15								
	薬理学	1	1								15							
	公衆衛生学	1									15							
	栄養学	1	1								15							
	リハビリテーション概論	2		30														
	保健医療福祉論	1									15							
	障がい者当事者論	1									30							
	作業療法概論	2		30														
	作業適応学	2				30												
	積雪寒冷地の生活と諸問題	1									15	15						
	理学療法専門科目	理学療法概論	2		30													
		基礎理学療法学	2			30												
		理学療法管理・運営論	1															15
		理学療法研究法	2										30					
理学療法英文原著読解		2						30	30									
医療コミュニケーション		1								30								
理学療法基礎評価学 I		2								30	30							
理学療法基礎評価学 II		2								30	30							
理学療法評価学総合演習		1										30						
画像診断学		1											15					
物理療法学		2												60				
運動療法学 I		1						30										
運動療法学 II		1									30							
義肢装具学 I		1										30						
義肢装具学 II		1											30					
日常生活動作学 I		1										30						
日常生活動作学 II		1											30					
骨関節障害理学療法学		2												30				
骨関節障害理学療法学演習		2													60			
神経障害理学療法学		2													30			
神経障害理学療法学演習		2														60		
発達障害理学療法学		2													30			
発達障害理学療法学演習		2														60		
内部障害理学療法学		2													30			
内部障害理学療法学演習		2														60		
理学療法治療学総合演習		1														30		
スポーツ障害理学療法論		1														30		
ハンドセラピー		1												15				
神経筋促進治療論		1													15			
徒手療法論		1														30		
リハビリテーション工学		1														15		
地域理学療法学		2														30		
地域理学療法学演習		1															30	
生活環境論		1													15			
国際協力と理学療法		2															30	
健康増進と理学療法		1															15	
障害者スポーツ指導論		1															30	
臨床実習 I		1														45		
臨床実習 II		2															90	
臨床実習 III		6															270	
臨床実習 IV		8															360	
臨床実習 V		3															135	
理学療法総合講義		1															30	
理学療法研究セミナー I		2													30	30		
理学療法研究セミナー II		2															60	
自由選択科目		音楽療法	1											15				自由選択科目※
専門教育科目 合計101単位以上修得																		
理学療法学科 合計128単位(必修120単位・選択8単位)以上修得																		

※ 自由選択科目:卒業必要単位数には含まない。

リハビリテーション科学部 作業療法学科 全学教育科目(2021年度第1~3学年適用) ●:学科必修 ○:音楽療法士コース必修 ◎:音楽療法士コース限定必修

区分	授業科目	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考	音楽療法士コース			
					1年		2年		3年		4年			履修	単位		
					必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
全学教育科目	導入科目	基礎ゼミナール	2	2	30									●	2		
		文章指導			2	30									○	2	
	教養科目	人間と思想	心理学	2	2	30									2単位以上修得		
		人間と文化	科学技術社会と倫理	2	2	30											
			哲学入門	2	2	30											
		人間と社会	文化人類学	2	2	30										2単位以上修得	
			日本の文学 ※1	2	2	30											
			経済学入門 ※2	2	2	30											
	医療の法学		2	2	30										2単位以上修得		
	健康・運動科学科目	健康・運動科学演習	運動科学演習Ⅰ	1	1	30											
		運動科学演習Ⅱ	1	1	30												
	外国語科目	英語Ⅰ	英語A	1	1	30									●	1	
		英語Ⅱ	英語B	1	1	30									●	1	
		初修外国語	英語コミュニケーションA	1	1	30											
			英語コミュニケーションB	1	1	30											
			中国語	1	1	30											
			韓国語	1	1	30											
	情報科学科目	情報処理演習	情報処理演習	1	1	30											
	統計学	基礎統計学	2	2	30										●	2	
	自然科学科目	自然科学入門	基礎数理	2	2	30											
			物理学	2	2	30											
			生物学	2	2	30											
			化学	1	1	30											
			生命科学	2	2	30											
医療基盤科目	多職種連携	多職種連携入門	2	2	30												
		多職種連携論	1	1	30					30							
		全学連携地域包括ケア実践演習	2	2	30						30				自由選択科目 ※3		
		地域連携	2	2	30										●	2	

※1 環境の歴史—日本の文学(授業科目の変更 2020.4.1~)
 ※2 医療の経済学—経済学入門(授業科目の変更 2020.4.1~)
 ※3 自由選択科目:卒業必要単位数には含まない。

全学教育科目 合計28単位以上修得(うち必修20単位)

リハビリテーション科学部 作業療法学科 専門教育科目(2021年度第1~3学年適用)

区分	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考	音楽療法士コース				
				1年		2年		3年		4年			履修	単位			
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
リハビリテーション基礎科目	解剖学Ⅰ	1	1	30													
	解剖学Ⅱ	1	1	30													
	解剖学実習	2	2	90													
	生理学Ⅰ	生理学Ⅰ	1	1	30												
		生理学実習	1	1	45												
	運動学Ⅰ	運動学Ⅰ	1	1	30												
		運動学実習	1	1	30												
	人間発達学	人間発達学	2	2	30												
		医学概論	1	1	15											●	1
	薬理学	薬理学	2	2	30												
		放射線科学	3	3	45												
	内科学	内科学	3	3	45												
		神経学	3	3	45												
	高次脳機能障害学	高次脳機能障害学	1	1	15												
		小児科学	2	2	30												
	精神医学Ⅰ	精神医学Ⅰ	2	2	30											●	2
		精神医学Ⅱ	2	2	30												
	リハビリテーション医学	リハビリテーション医学	2	2	30												
	臨床心理学	臨床心理学	1	1	15											●	1
		薬理学	1	1	15												
	公衆衛生学	公衆衛生学	1	1	15												
		栄養学	1	1	15												
	リハビリテーション概論	リハビリテーション概論	2	2	30											●	2
	社会保障制度論	社会保障制度論	1	1	15												
		障がい当事者論	1	1	30												●
	積雪寒冷地の生活と諸問題	積雪寒冷地の生活と諸問題	1	1	30												
		医療数学入門	1	1	15												
	医療物理入門	医療物理入門	1	1	15												
	医療生物入門	医療生物入門	1	1	15												
	作業療法専門科目	作業療法概論	2	2	30												
		職業倫理・管理学	1	1	15												
		作業療法技術学演習Ⅰ	1	1	30											●	1
		作業療法技術学演習Ⅱ	1	1	30												
		作業療法研究法	1	1	15												
評価学概論		評価学概論	1	1	15												
		身体機能評価学Ⅰ	2	2	60												
身体機能評価学Ⅱ		1	1	30													
運動学実習		1	1	30													
精神系評価学		1	1	30													
発達系評価学		1	1	30													
評価学実習		2	2	90													
日常生活援助学Ⅰ		1	1	30												●	1
日常生活援助学Ⅱ		1	1	30													
身体障害作業療法学		2	2	60													
身体障害作業療法学実習Ⅰ		1	1	45													
身体障害作業療法学実習Ⅱ		1	1	45													
精神障害作業療法学		2	2	60													
精神障害作業療法学実習		1	1	45													
発達障害作業療法学		1	1	30													
発達障害作業療法学実習		1	1	30													
老年期障害作業療法学Ⅰ		1	1	30													
老年期障害作業療法学Ⅱ		1	1	30													
高次脳機能障害作業療法学		1	1	15													
高次脳機能障害作業療法学実習		1	1	30													
義肢装具学		1	1	30													
作業通用学演習		1	1	30													
音楽療法		1	1	15												○	1
音楽療法各論		1	1	15												○	1
パソコン応用		1	1	15													
応用リハビリテーション学		1	1	15													
地域作業療法学		2	2	30													
地域作業療法学演習		1	1	30													
職業援助論		1	1	15													
臨床心理学		1	1	45													
評価学実習		5	5	225													
総合臨床実習Ⅰ		8	8	360													
総合臨床実習Ⅱ		8	8	360													
作業療法学総論講義		1	1	30													
作業療法研究セミナーⅠ		2	2	60													
作業療法研究セミナーⅡ		2	2	60													
専門教育科目 合計106単位以上修得																	
作業療法学科 合計134単位(必修126単位・選択8単位)以上修得																	
音楽療法士コース	音楽理論	2	2	30											◎	2	
	ソルフェージュ	2	2	60											◎	2	
	楽典(鍵盤)	2	2	60											◎	2	
	楽典(弦)	2	2	60											◎	2	
	律法	2	2	60											◎	2	
	合唱	2	2	60											◎	2	
	アンサンブル	2	2	60											◎	2	
	楽風演奏	2	2	60											◎	2	
	教育相談(カウンセリング)	1	1	30											◎	1	
	音楽療法各論Ⅱ	2	2	30											◎	2	
音楽療法総合演習	3	3	90											◎	3		
音楽療法士コース履修者は、専門教育科目 合計130単位(作業療法学科106単位以上+音楽療法士コース科目22単位)以上修得														22			
音楽療法士コース 合計158単位(必修150単位・選択8単位)以上修得																	

リハビリテーション科学部 作業療法学科 全学教育科目(2021年度第4学年適用)

区分	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考					
				1年		2年		3年		4年							
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期		前期	後期			
全学教育科目	導入科目	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論)	1		30												
		文章指導(日本語の表現)	1		30												
	教養科目	人間と思想(心理学)	2		30												
		人間と思想(死生学入門)	2		30												
		人間と思想(哲学入門)	2		30												
		人間と社会(医療の経済学)	2		30												
		人間と社会(医療の法学)	2		30												
		人間と社会(国際社会福祉論)	2							30							
		人間と文化(文化人類学)	2		30												
		人間と文化(環境の歴史)	2							30							
		人間と文化(国際文化比較論)	2						30								
		自然と科学(生命科学)	2		30												
	健康・運動科学科目	健康・運動科学演習(運動科学演習)	2		30	30											
	外国語科目	英語 I (オラル・イングリッシュA)	1		30												
		英語 I (オラル・イングリッシュB)	1				30										
		英語 II (英語A)		1		30											
		英語 II (英語B)		1				30									
		中国語(中国語)		1	30												
		韓国語(韓国語)		1	30												
フランス語(フランス語)			1					30									
	ドイツ語(ドイツ語)		1				30										
情報科学科目	情報処理演習(情報処理演習)	1		30													
	統計学(基礎統計学)	2							30								
自然科学科目	自然科学入門(基礎数理)	1		30													
	自然科学入門(物理学)		2		30												
	自然科学入門(生物学)		2		30												
	自然科学入門(化学)		2		30												
医療基盤科目	個体差健康科学(個体差健康科学)	2		30													
	医療倫理(医療倫理)	2		30													
	地域連携(地域包括ケア演習)		1						30								
	地域連携(フィールドワークをつくるⅠ)		1				30										
	多職種連携(多職種連携論)		1						30								
	多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)		2									30				自由選択科目 ※	
全学教育科目 合計27単位以上修得(うち必修19単位)																	

※ 自由選択科目：卒業必要単位数には含まない。

リハビリテーション科学部 作業療法学科 専門教育科目(2021年度第4学年適用)

区分	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考					
				1年		2年		3年		4年							
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期		前期	後期			
リハビリテーション基盤科目	解剖学 I	1		30													
	解剖学 II	1			30												
	解剖学実習	1				60											
	生理学 I	1		30													
	生理学 II	1			30												
	生理学実習	1				60											
	運動生理学	1				30											
	運動学 I	1			30												
	運動学 II	1				30											
	運動学実習	1					60										
	老年学	1					15										
	人間発達学	1					15										
	医学概論	1		15													
	病理学	1				15											
	整形外科	2				30											
	内科学	2					30										
	神経学	2					30										
	小児科学	1					15										
	精神医学 I	2					30										
	精神医学 II	2					30										
	病態運動学	1					30										
	高次脳機能障害学	1					15										
	臨床心理学	1					15										
	薬理学		1					15									
	公衆衛生学	1					15										
	栄養学		1				15										
	リハビリテーション概論	2			30												
	理学療法概論		2		30												
	基礎理学療法学		2		30												
保健医療福祉論	1							15									
障がい当事者論	1						30										
積雪寒冷地の生活と諸問題	1							15	15								
作業療法専門科目	作業療法概論	2		30													
	職業倫理・管理学	1												15			
	作業療法技術学演習Ⅰ	1				30											
	作業療法技術学演習Ⅱ	1					30										
	作業療法研究法	1						15									
	評価学概論	1					30										
	身体機能評価学Ⅰ	1						30									
	身体機能評価学Ⅱ	1							30								
	精神機能評価学	1							30								
	発達系評価学	1							30								
	評価学実習	1								60							
	画像診断学		1								15						
	日常生活援助学	2									30						
	日常生活援助学演習	1									15						
	身体障害作業療法学	2									60						
	身体障害作業療法学演習	1										60					
	精神障害作業療法学	2										30					
	精神障害作業療法学演習	1											30				
	発達障害作業療法学	2											30				
	発達障害作業療法学演習	1												30			
	老年障害作業療法学	2												30			
	老年障害作業療法学演習	1													30		
	高次脳機能障害作業療法学	2													30		
	高次脳機能障害作業療法学演習	1														30	
	義肢装具学	2														30	
	作業適応学	2					30										
	音楽療法		1								15						
	ハンドセラピー		1								15						
	徒手療法論		1									30					
	呼吸リハビリテーション学		1									15					
	神経筋促進治療論		1										15				
	園芸療法		1										15				
	地域作業療法学	2												30			
	地域作業療法学演習	1													30		
	リハビリテーション工学	1												15			
	就業援助論	1														15	
	介護技術方法論		1											15			
	臨床見学	1			45												
	評価実習	4										180					
	総合臨床実習Ⅰ	9											405				
	総合臨床実習Ⅱ	9												405			
	作業療法学総合講義	1														30	
	作業療法研究セミナーⅠ	2									30	30					
	作業療法研究セミナーⅡ	2														60	
	自由選択科目	音楽療法各論		1							15						自由選択科目 ※
	専門教育科目 合計101単位以上修得																
	作業療法学科 合計128単位(必修120単位・選択8単位)以上修得																

※ 自由選択科目：卒業必要単位数には含まない。

リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科 全学教育科目 (2021年度第1~3学年適用)

区分	授業科目	授業題目	単位数		開講年次・時間数								備考							
			必修	選択	1年		2年		3年		4年									
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
全学教育科目	導入科目	基礎ゼミナール	2		30															
		文章指導		2	30															
	教養科目	人間と思想	コミュニケーション実践論		2	30														
			日本語の表現		2	30														
			心理学		2	30														
		人間と文化	科学技術社会と倫理		2	30														
			哲学入門		2	30														
			文化人類学		2	30														
	人間と社会	日本の文学 ※1		2	30															
		経済学入門 ※2		2	30															
		医療の法学		2	30															
		国際社会福祉論		2	30															
	健康・運動科学科目	健康・運動科学演習		1	30															
		運動科学演習Ⅱ		1	30															
	外国語科目	英語Ⅰ	英語A		1	30														
			英語B		1	30		30												
		英語Ⅱ	英語コミュニケーションA		1	30														
			英語コミュニケーションB		1	30			30											
		初修外国語	中国語		1	30														
韓国語		1	30																	
情報科学科目	情報処理演習		1	30																
	統計学		2	30																
自然科学科目	自然科学入門	基礎数理		2	30															
		物理学		2	30															
		生物学		2	30															
		化学		2	30															
		生命科学		2	30															
医療基盤科目	多職種連携	多職種連携入門		2	30															
		多職種連携論		1	30					30										
	全学連携地域包括ケア実践演習		2	30											30					
	医療倫理		2	30																
地域連携		2	30										30							

全学教育科目 合計27単位以上修得(うち必修16単位)

※1 環境の歴史→日本の文学(授業題目の変更 2020.4.1~)
 ※2 医療の経済学→経済学入門(授業題目の変更 2020.4.1~)
 ※3 自由選択科目:卒業必要単位数には含まない。

リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科 専門教育科目 (2021年度第1~3学年適用)

区分	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考						
		必修	選択	1年		2年		3年		4年								
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
言語聴覚学総合教育	言語聴覚障害学概論		2		30													
	言語聴覚診断学総論		1				15											
	言語聴覚学総論Ⅰ		2							30								
	言語聴覚学総論Ⅱ		1							15								
	言語聴覚学総論Ⅲ		1							15								
	言語聴覚学総論Ⅳ		4								60							
言語聴覚学基盤教育	医療生物入門		1	15														
	解剖生理学Ⅰ		2	60														
	解剖生理学Ⅱ		2	60														
	解剖生理学Ⅲ		2	30														
	音声言語聴覚医学		3	45														
	医学総論		1	15						15								
	公衆衛生学		2	30														
	病理学		1	15														
	内科学		2	30														
	小児科学		1.5	23														
	耳鼻咽喉科学		2	30														
	形成外科学		1	15														
	精神医学		2	30														
	神経学		2	30														
	リハビリテーション医学		2	30					30									
	歯科学総論		1	15							15							
	口腔外科学		1	15														
	音声学		2	30														
	言語学		2.5	38														
	音響学		3	45														
	言語発達学		2	30														
	日本語学		2	30														
	心理言語学		2	30							30							
	認知心理学		1.5	23														
	学習心理学		1.5	23														
	発達心理学		1.5	23														
	生理心理学		1.5	23														
	臨床心理学		1.5	23														
	心理測定法		1.5	23														
リハビリテーション概論		2	30															
関係法規		1	15															
社会保障制度論		1	15															
英語論文購読		1.5	23															
言語聴覚障害学教育	失語症Ⅰ		1	15														
	失語症Ⅱ		1.5	23														
	高次脳機能障害学		1.5	23														
	言語発達障害学Ⅰ		2	30														
	言語発達障害学Ⅱ		2	30														
	発声発語障害学Ⅰ		2.5	38														
	発声発語障害学Ⅱ		2	30														
	摂食嚥下障害学		2	30														
	聴覚障害学Ⅰ		2	30														
	聴覚障害学Ⅱ		2	30														
	失語症学演習Ⅰ		1	30														
	失語症学演習Ⅱ		1	30														
	高次脳機能障害学演習		1	30														
	言語発達障害学演習		2	60														
	発声発語障害学演習Ⅰ		1	30														
	発声発語障害学演習Ⅱ		2	60														
	摂食嚥下障害学演習		1	30														
	聴覚障害学演習Ⅰ		1.5	45														
	聴覚障害学演習Ⅱ		1.5	45														
	基礎実習		4	180														
	総合実習		8	360														
	研究法		1	30														
	言語聴覚ゼミナールⅠ		1	30														
言語聴覚ゼミナールⅡ		1	30												30			
卒業研究		1	30															

専門教育科目 合計100単位以上修得

言語聴覚療法学科 合計127単位(必修111単位・選択16単位)以上修得

